

平成 29 年度 生活習慣関連 10 疾患の動向に関する調査

令和元年 6 月

IT 推進部データ分析推進グループ

< 調査の概要 >

本調査は、1,280 組合の「医科」・「調剤」の電算処理レセプト（3 億 7,908 万 5,541 件）をもとに、平成 29 年度の生活習慣関連 10 疾患（p.2 参照）の動向について、受診率や 1 人当たり医療費等の医療費関連指標に基づき考察を行ったものです。

【調査結果のポイント】

1. 生活習慣関連 10 疾患別にみた受診率：
 - ・ 「医科入院」では、 本人： 高血圧症：8.8 件、 糖尿病：7.2 件、 高脂血症：4.9 件の順に高く、 家族： 高血圧症：4.6 件、 糖尿病：4.2 件、 高脂血症：2.7 件 の順に高い。（p.10）
 - ・ 「医科入院外」では、 本人： 高血圧症：843.5 件、 高脂血症：748.9 件、 糖尿病：559.8 件の順に高く、 家族： 高脂血症：360.7 件、 高血圧症：340.6 件、 糖尿病：244.3 件の順に高い。（p.11）
2. 総医療費に占める生活習慣関連 10 疾患の医療費構成割合：
 - ① 総医療費（医科+調剤）約 3 兆 4,827 億円（1,280 組合）のうち、生活習慣関連 10 疾患医療費は約 4,554 億円で、全体の 13.1%を占めている（p.14）
3. 生活習慣関連 10 疾患別にみた医療費構成割合：
 - ① 「医科入院」では、 脳血管障害：34.0%、 虚血性心疾患：31.7%、 糖尿病：12.6% の順に高く、「医科入院外」では、 糖尿病：29.1%、 高血圧症：29.0%、 高脂血症：18.3%の順に高い（p.17,p.19）
4. 生活習慣関連 10 疾患別にみた 1 人当たり医療費：
 - ① 「医科入院」では、 本人： 虚血性心疾患：1,062 円、 脳血管障害：890 円、 糖尿病：333 円の順に高く、 家族： 脳血管障害：505 円、 糖尿病：183 円、 人工透析：178 円 の順に高い。
 - ② 「医科入院外」では、 本人： 高血圧症：5,776 円、 糖尿病：5,750 円、 高脂血症：3,380 円の順に高く、 家族： 糖尿病：2,081 円、 高血圧症：2,008 円、 高脂血症：1,601 円の順に高い（p.29,p.32）
5. 生活習慣関連 10 疾患別にみた推計 1 入院当たり医療費：
 - ① 推計 1 入院当たり医療費は、 本人： 脳血管障害：88 万 8,085 円、 人工透析：73 万 5,955 円、 虚血性心疾患：54 万 3,435 円の順に高く、 家族： 人工透析：102 万 9,783 円、 脳血管障害：79 万 1,981 円、 虚血性心疾患：25 万 5,466 円の順に高い（p.44）

対象疾患名及び ICD-10 コード等

対象疾患名（診療行為）	ICD-10 等
糖尿病	E11 ~ E14
脳血管障害	I61、I639、I64
虚血性心疾患	I209、I259、I219
動脈閉塞	E145
高血圧症	I10
高尿酸血症	E790
高脂血症	E785、E780、E781
肝機能障害	K760、K701
高血圧性腎臓障害	I129、N26
人工透析	診療行為区分 J038

厚生労働省「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」p.146（平成 19 年 4 月）

診療区分別レセプト件数及び医療費

組合数	診療区分		レセプト件数	医療費
1,280 組合	合計		274,032,250	3,590,611,888,942
	医科	計	168,978,959	2,711,776,944,882
		入院	2,128,979	963,278,951,070
		入院外	166,849,980	1,748,497,993,812
	調剤		105,053,291	878,834,944,060

加入者数（年間平均）

組合数	加入者数（年間平均）		
	合計	本人	家族
1,280 組合	27,826,351	15,680,890	12,145,588

加入者数は、各区分ごとに年間平均を算出しているため、合計は一致しない。

目次

1. 疾病 19 分類別にみた生活習慣関連疾患の受診率（1,000 人当たり件数）	
(1) 合計	5
(2) 医科入院	8
(3) 医科入院外	9
2. 生活習慣関連 10 疾患別にみた受診率（1,000 人当たり件数）	
(1) 医科入院	10
(2) 医科入院外	11
3. 年齢階層別にみた生活習慣関連 10 疾患の有病者数（年間平均）	12
4. 総医療費に占める生活習慣関連 10 疾患の医療費構成割合	
(1) 合計	14
(2) 本人	15
(3) 家族	16
5. 生活習慣関連 10 疾患別にみた医療費構成割合	
(1) 医科入院	17
(2) 医科入院外	19
6. 年齢階層別にみた生活習慣関連 10 疾患医療費及び医療費構成割合	
(1) 医科入院	21
(2) 医科入院外	25
7. 生活習慣関連 10 疾患別にみた 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素	
(1) 医科入院	29
(2) 医科入院外	32
8. 年齢階層別にみた生活習慣関連 10 疾患別 1 人当たり医療費	
(1) 医科入院	35
(2) 医科入院外	37
9. 生活習慣関連 10 疾患別にみた年齢階層別医療費構成割合	
(1) 糖尿病	39
(2) 脳血管障害	39
(3) 虚血性心疾患	40
(4) 動脈閉塞	40
(5) 高血圧症	41
(6) 高尿酸血症	41
(7) 高脂血症	42
(8) 肝機能障害	42
(9) 高血圧性腎臓障害	43
(10) 人工透析	43

10 . 生活習慣関連 10 疾患別にみた推計 1 入院あたり医療費	44
11 . 生活習慣関連 10 疾患別にみた推計平均在院日数	45
12 . 生活習慣関連 10 疾患別にみた 1,000 人あたり推計新規入院件数	46
留意点及び用語の解説	47

1. 疾病 19 分類別にみた生活習慣関連疾患の受診率（1,000 人当たり件数）

(1) 合計

疾病 19 分類別に生活習慣関連疾患¹の受診率をみると、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は上位 3 位で 1002.1 件、「循環器系の疾患」は同 5 位で 852.8 件となっている。

「本人」・「家族」別にみると、「本人」では（p.6）「内分泌、栄養及び代謝疾患」は上位 2 位で 1239.4 件、「循環器系の疾患」は同 4 位で 1104.3 件となっている。

「家族」では（p.7）「内分泌、栄養及び代謝疾患」は上位 6 位で 695.7 件、「循環器系の疾患」は同 8 位で 528.1 件となっている。

図1 疾病19分類別にみた受診率（1,000人当たり件数）

【医科合計】

<合計>



¹ ここでは、疾病 19 分類上の生活習慣関連疾患を、本調査の生活習慣関連 10 疾患を含む「内分泌、栄養及び代謝疾患」と「循環器系の疾患」とした。なお、同 2 分類に占める生活習慣関連 10 疾患医療費の割合は 67.3%である。本調査対象の 10 疾患の受診率については pp.10-11 を参照。

図2 疾病19分類別にみた受診率（1,000人当たり件数）

【医科合計】

<本人>

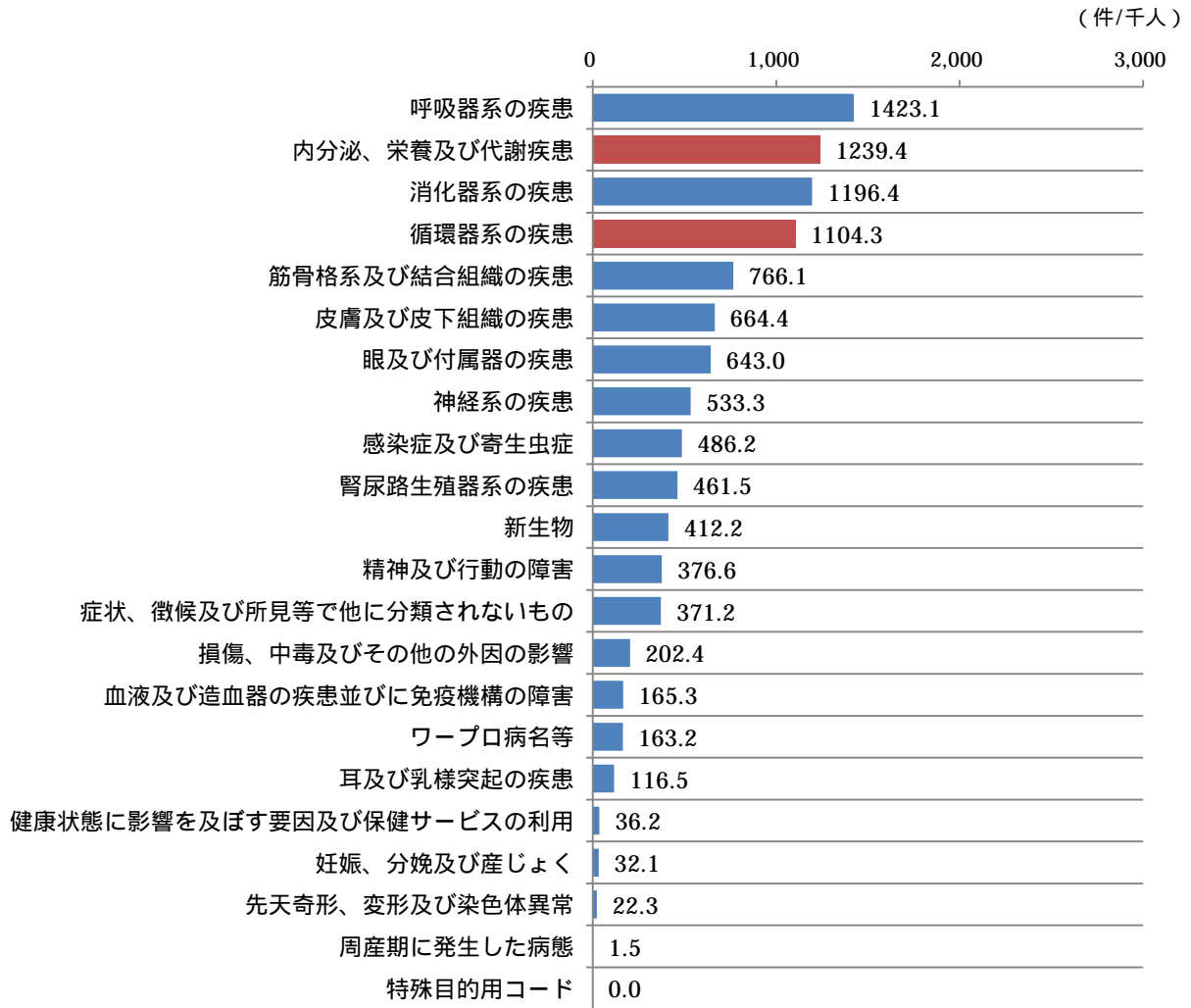
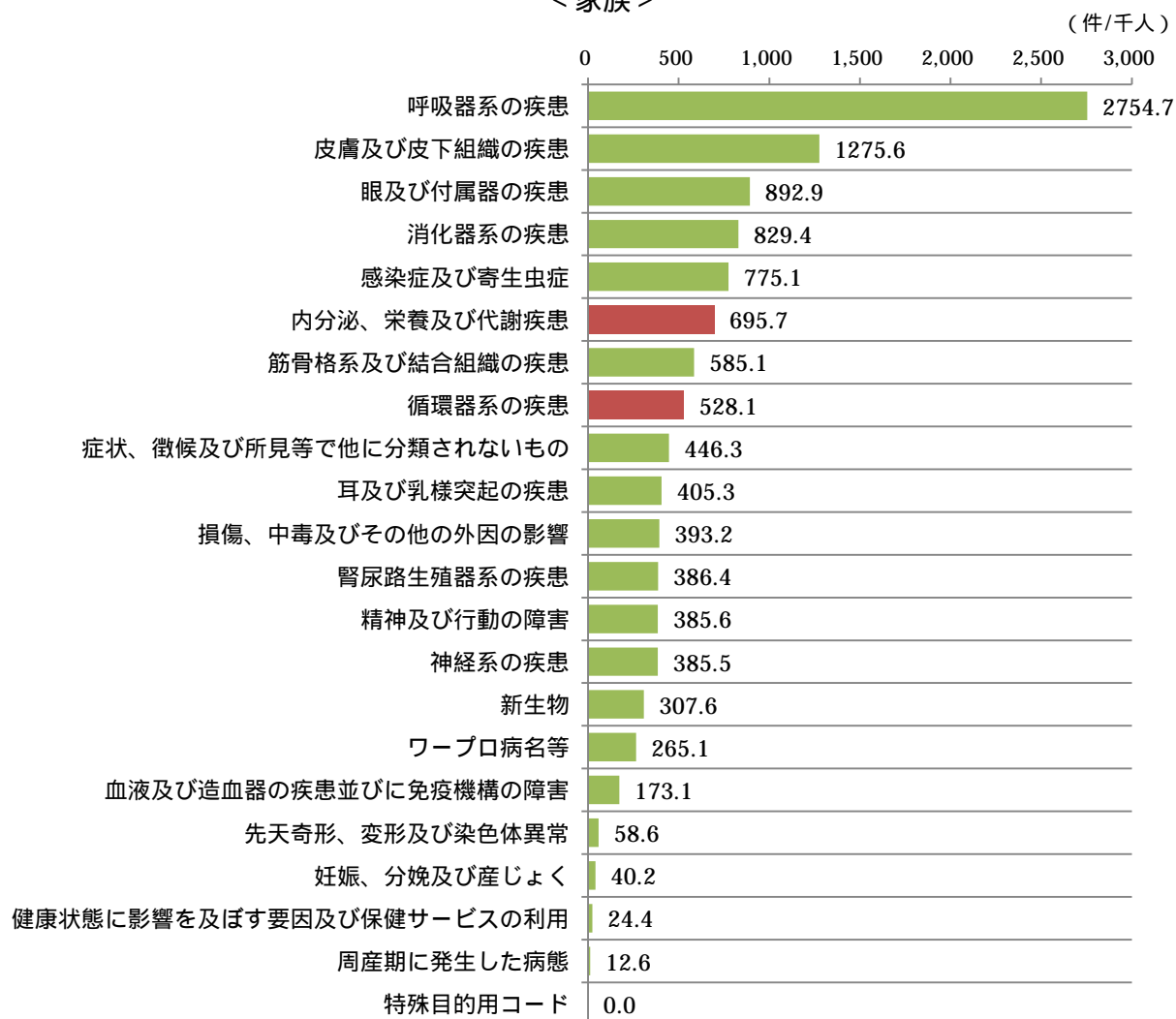


図3 疾病19分類別にみた受診率（1,000人当たり件数）

【医科合計】

< 家族 >



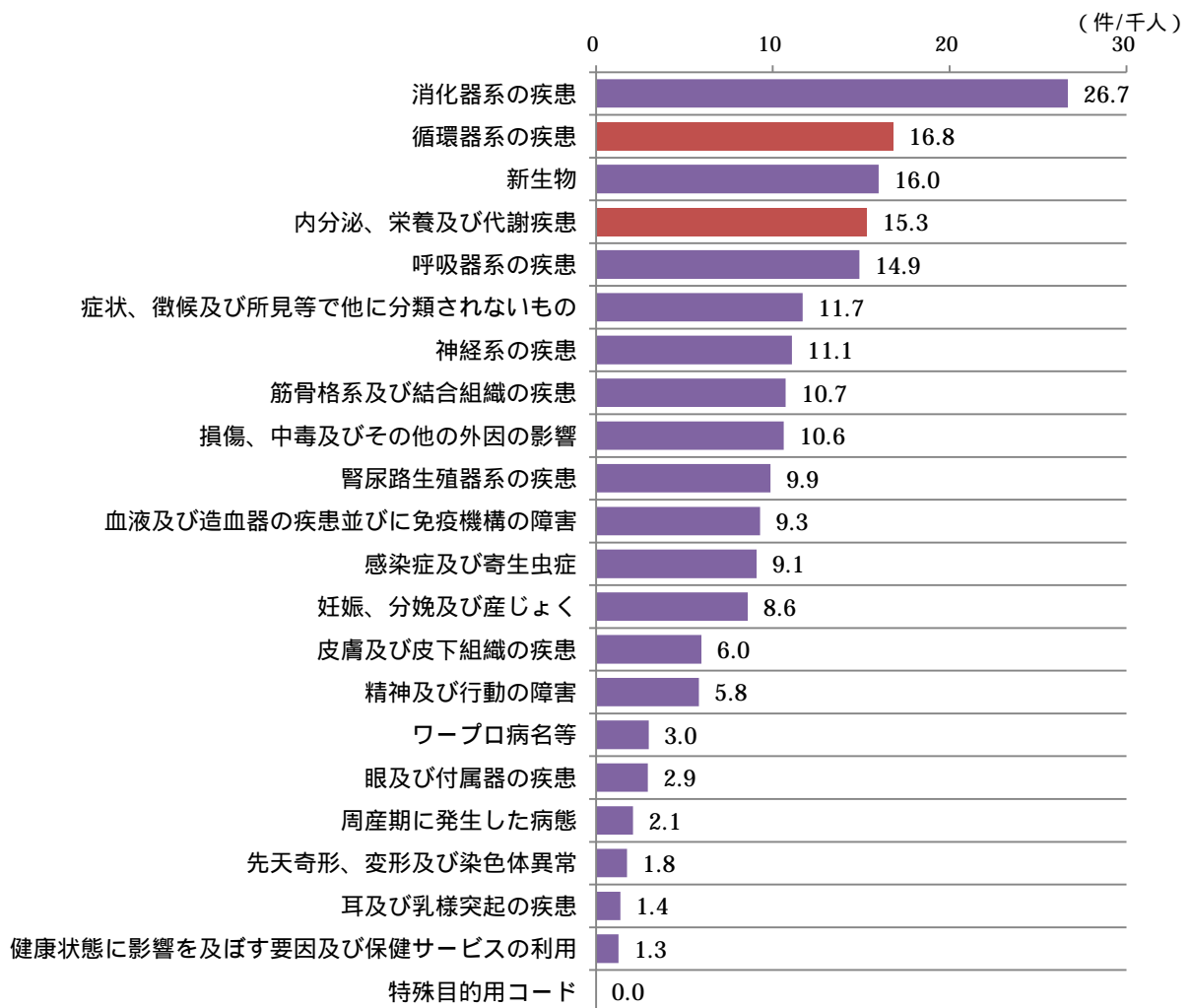
(2) 医科入院

疾病 19 分類別に生活習慣関連疾患の「医科入院」の受診率をみると、「循環器系の疾患」は上位 2 位で 16.8 件、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は同 4 位で 15.3 件となっている。

図4 疾病19分類別にみた受診率（1,000人当たり件数）

【医科入院】

<合計>



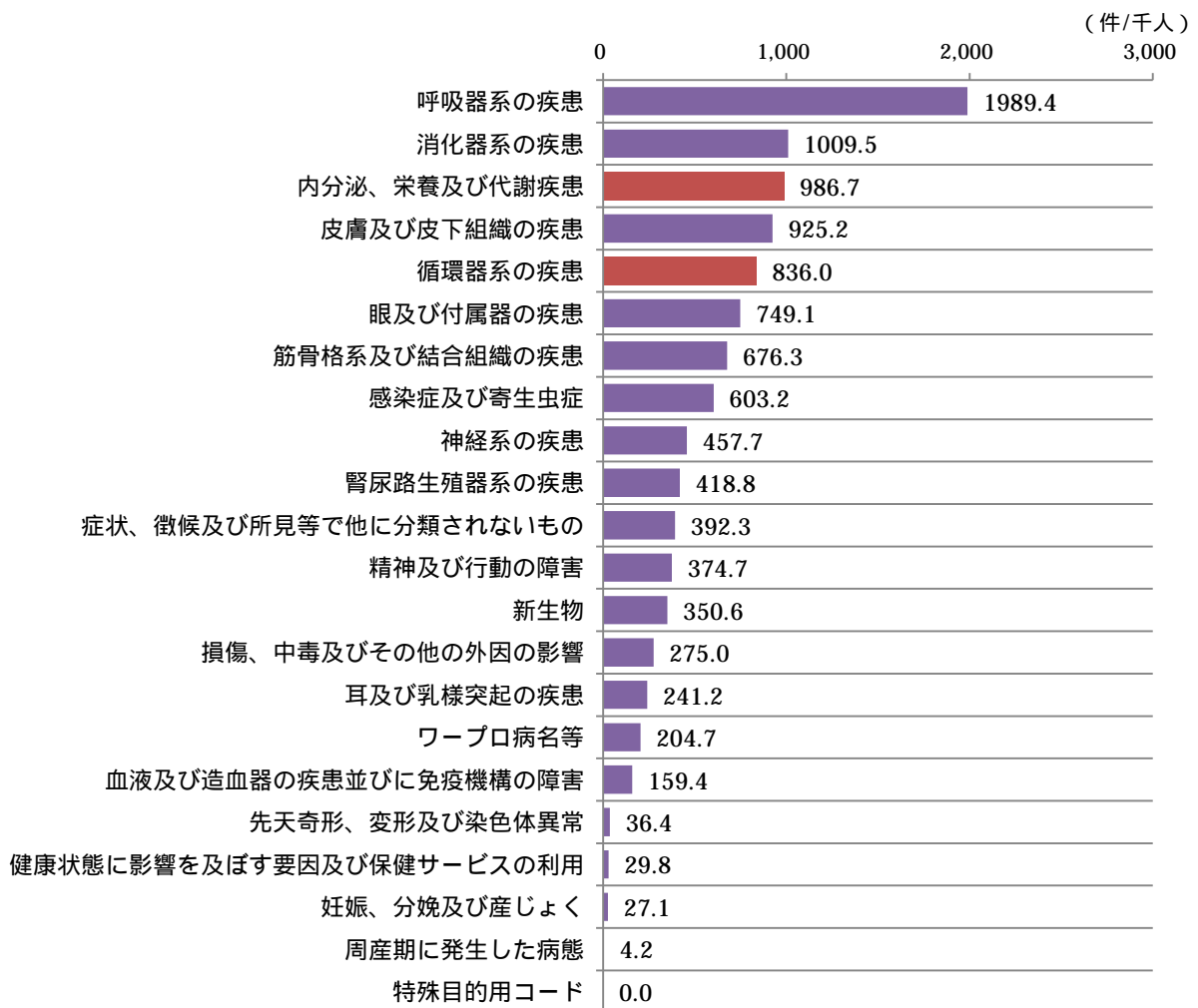
(3) 医科入院外

疾病 19 分類別に生活習慣関連疾患の「医科入院外」の受診率をみると、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は上位 3 位で 986.7 件、「循環器系の疾患」は同 5 位で 836.0 件となっている。

図5 疾病19分類別にみた受診率（1,000人当たり件数）

【医科入院外】

<合計>



2. 生活習慣関連 10 疾患別にみた受診率 (1,000 人当たり件数)

(1) 医科入院

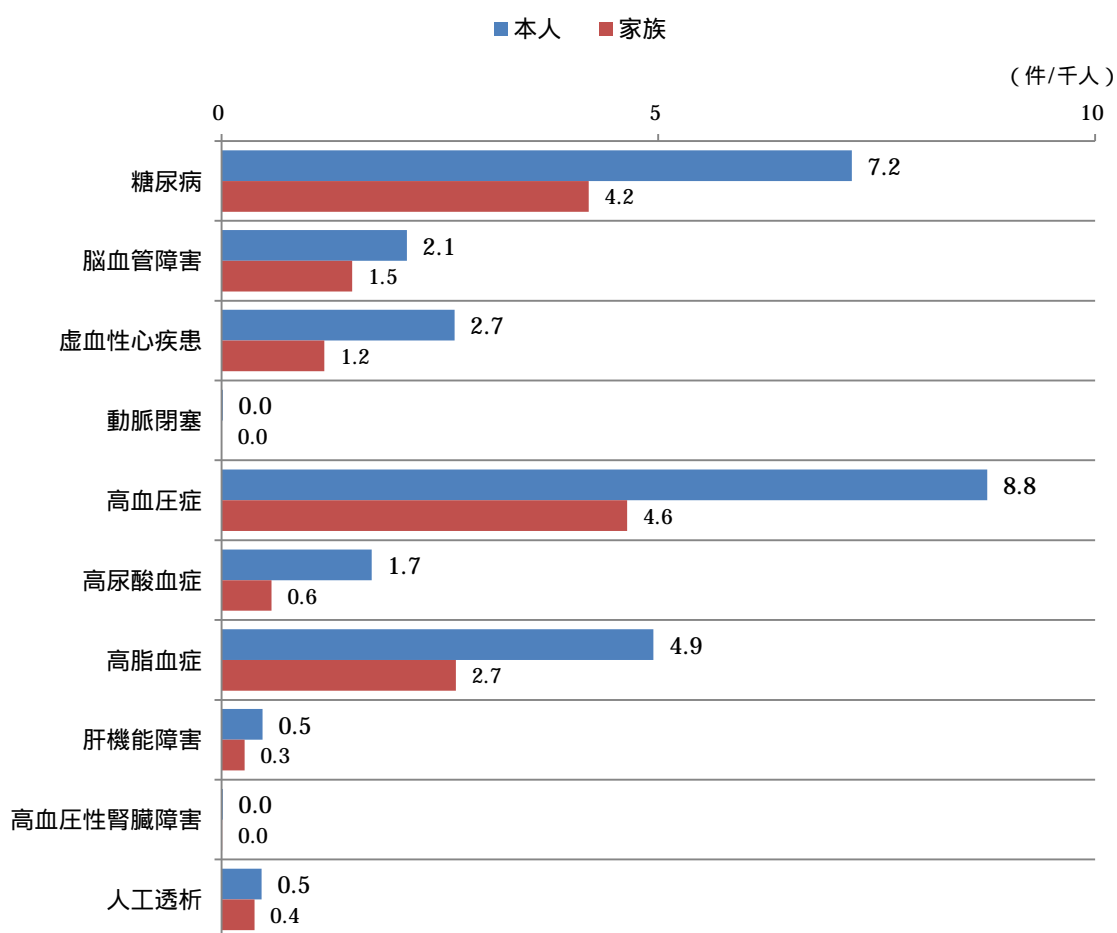
生活習慣関連 10 疾患別に「医科入院」の受診率をみると、「本人」では、 高血圧症：8.8 件が最も多く、次いで、 糖尿病：7.2 件、 高脂血症：4.9 件となっている。

「家族」では、 高血圧症：4.6 件が最も多く、次いで、 糖尿病：4.2 件、 高脂血症：2.7 件となっている。

図6 生活習慣関連10疾患別受診率 (1,000人当たり件数)

【医科入院】

<本人・家族>



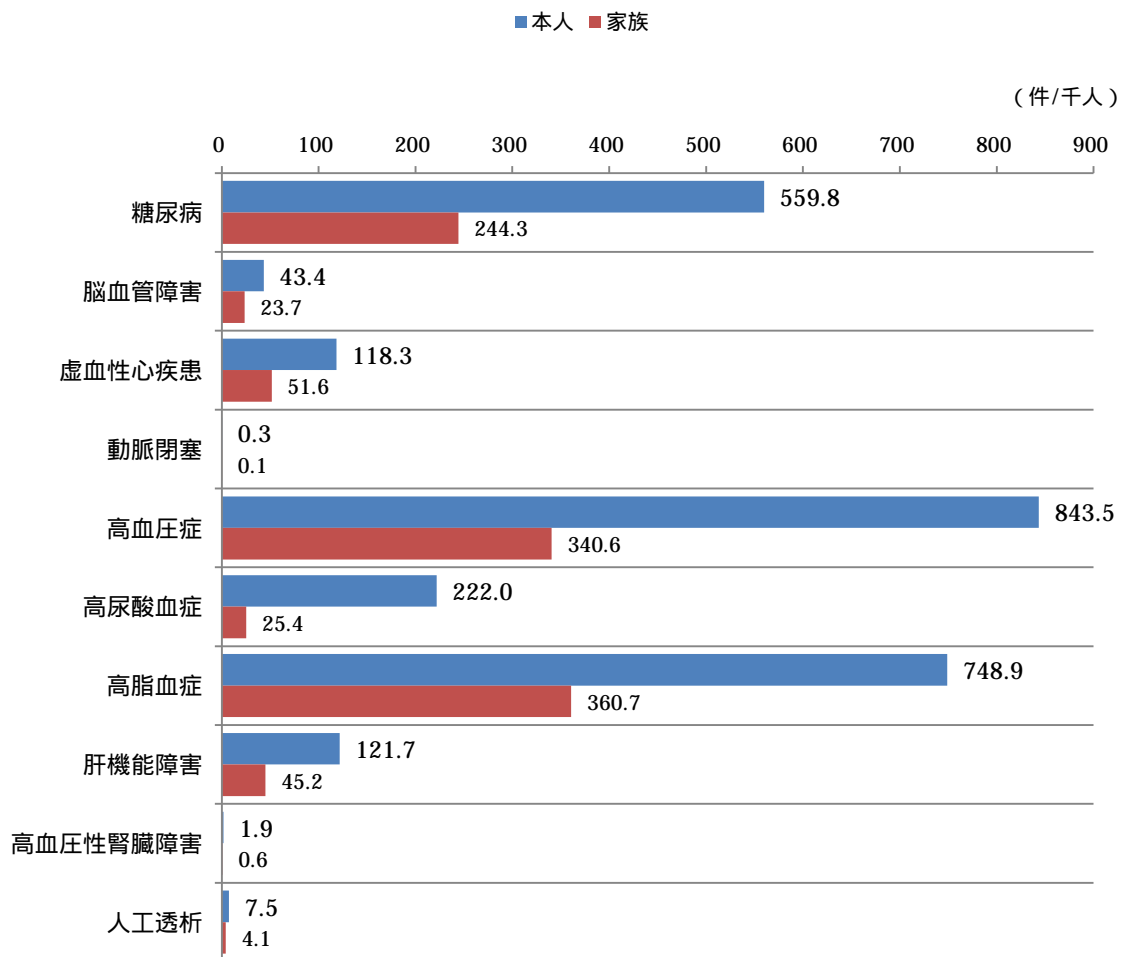
(2) 医科入院外

生活習慣関連 10 疾患別に「医科入院外」の受診率をみると、「本人」では、 高血
圧症：843.5 件が最も多く、次いで、 高脂血症：748.9 件、 糖尿病：559.8 件
となっている。

「家族」では、 高脂血症：360.7 件が最も多く、次いで、 高血圧症：340.6 件、
糖尿病：244.3 件となっている。

図7 生活習慣関連10疾患別受診率（1,000人当たり件数）

【医科入院外】
<本人・家族>

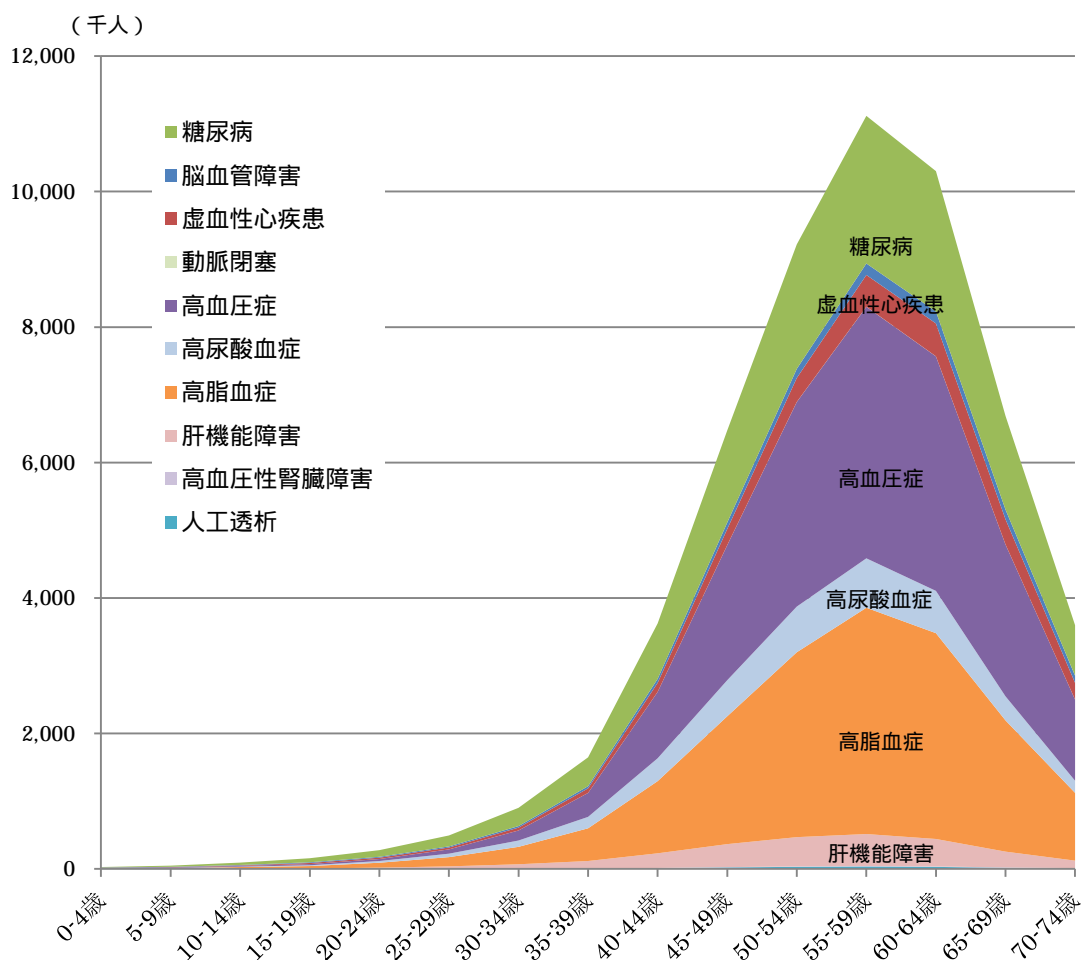


3. 年齢階層別²にみた生活習慣関連10疾患の有病者数(年間平均)³

生活習慣関連10疾患の年齢階層別有病者数(年間平均)をみると、55-59歳が最も多く、次いで、60-64歳、50-54歳となっている。

「本人」、「家族」別にみると(p.13)「本人」では55-59歳、60-64歳、50-54歳の順に多く、「家族」では、60-64歳、55-59歳、65-69歳の順に多い。

図8 年齢階層別生活習慣関連10疾患別有病者数(年間平均)
【医科合計】
<合計>



² 年齢区分70-74歳には、75歳以上の者を含む。75歳以上の加入者は制度区分上、原則存在しないが、診療年月日の月末の年齢として年齢を計算しており、75歳の誕生日を迎える月に誕生日前に診療を受けた場合に年齢が75歳となるため、75-79歳に計上されている。このため、75歳以上の数値は70-74歳に加えて計算している。また、外国に住所を有する75歳以上の加入者についても同様の取扱いとしている。

³ 図は年齢階層ごとの各疾患の病者数(年間平均)を積上げたものである(以下、同じ)

図9 年齢階層別生活習慣関連10疾患別有病者数（年間平均）

【医科合計】

< 本人 >

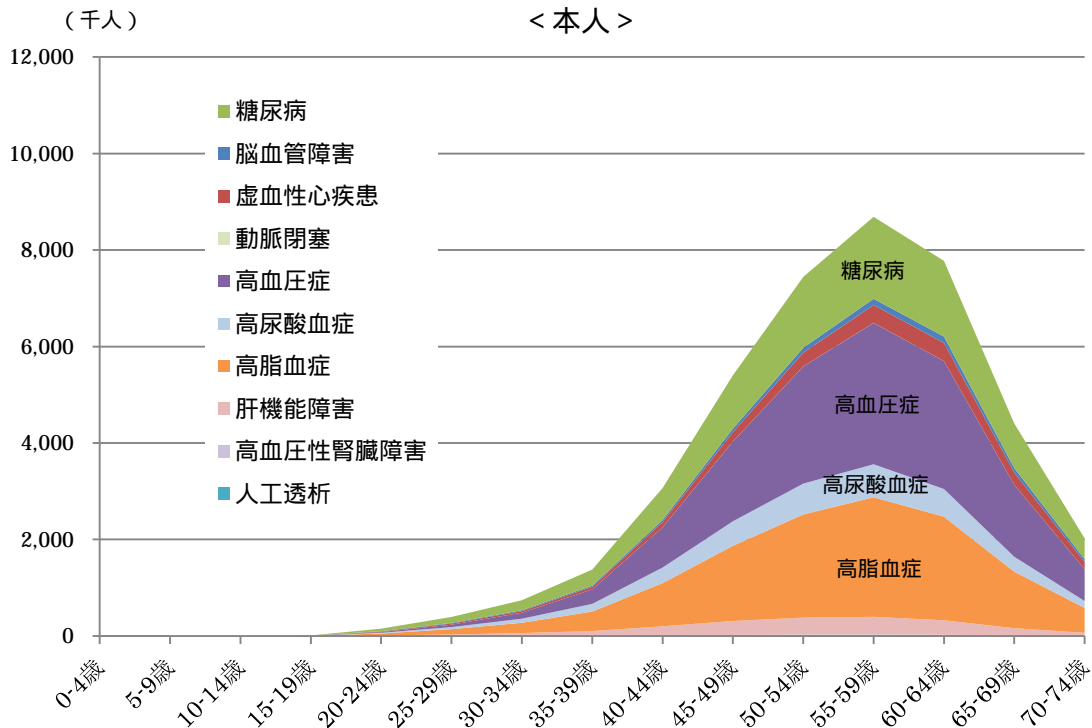
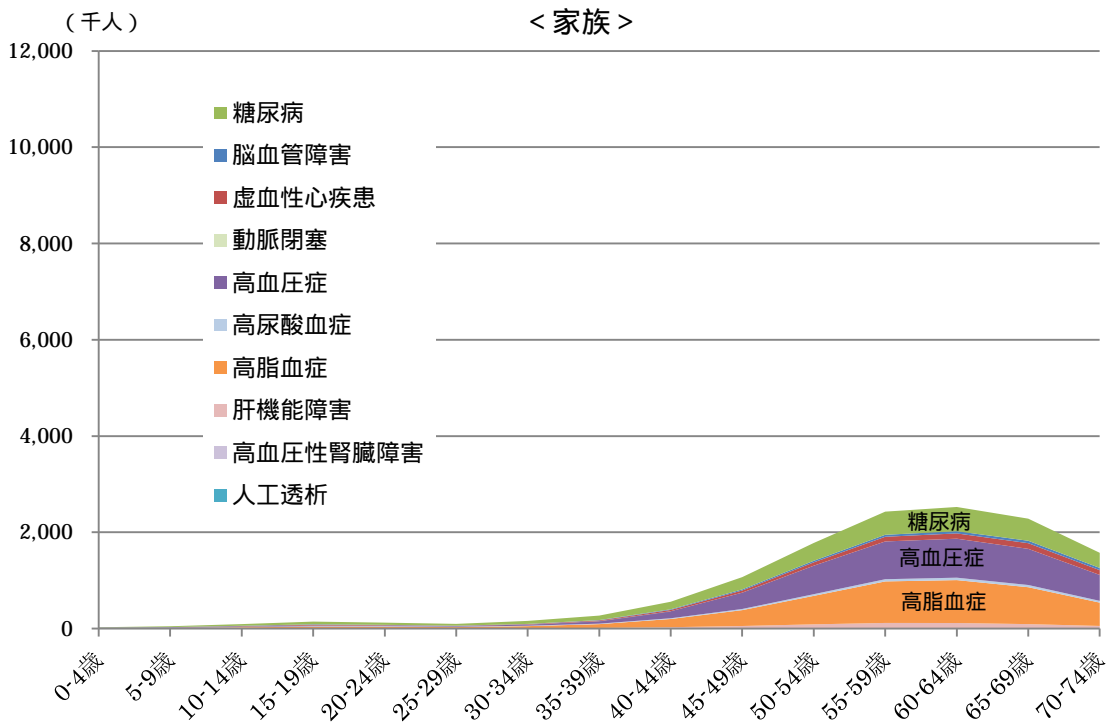


図10 年齢階層別生活習慣関連10疾患別有病者数（年間平均）

【医科合計】

< 家族 >



4. 総医療費⁴に占める生活習慣関連10疾患の医療費⁵構成割合

(1) 合計

平成29年度の医療費総額：約3兆4,827億円（1,280組合）のうち、生活習慣関連10疾患医療費は約4,554億円で、全体の13.1%を占めている。

診療区分別にみると、「医科入院」：約591億円（13.0%）、「医科入院外」：約3,964億円（87.0%）と、「医科入院外」が約9割を占めている。

図11 総医療費に占める生活習慣関連10疾患の医療費構成割合
【合計】

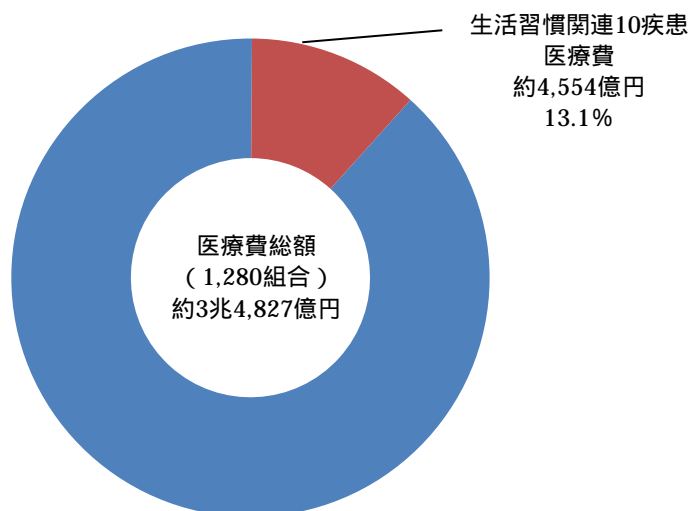
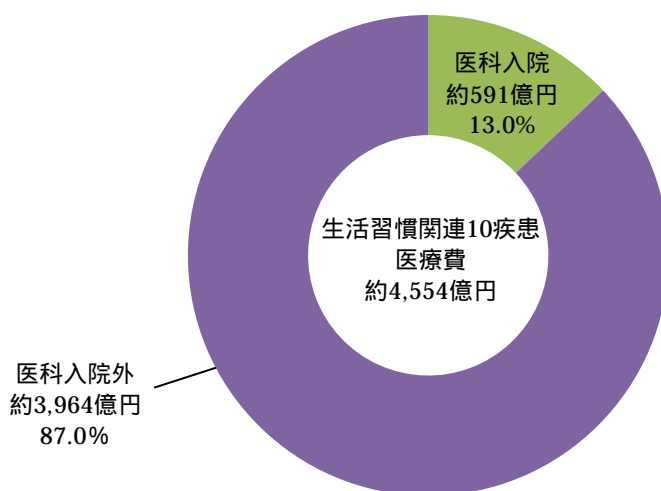


図12 診療区分別生活習慣関連10疾患の医療費構成割合
【合計】



⁴ 医療費には調剤費を含む。なお、入院時食事療養・生活療養費は含まれない。

⁵ 疾病別の医療費は、レセプトに記載された一ないし複数の傷病名に対して、各傷病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、同一レセプトの医療費を疾病ごとに振り分けた結果をもとに算定する手法を用いている。レセプトに記載された一ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づいた、1レセプト1傷病名による医療費とは異なる(以下、同じ)。

(2) 本人

「本人」の医療費総額：約1兆9,212億円(1,280組合)のうち、生活習慣関連10疾患医療費は約3,474億円で、全体の18.1%を占めている。

診療区別にみると、「医科入院」：約442億円(12.7%)、「医科入院外」：約3,032億円(87.3%)となっている。

図13 総医療費に占める生活習慣関連10疾患の医療費構成割合
<本人>

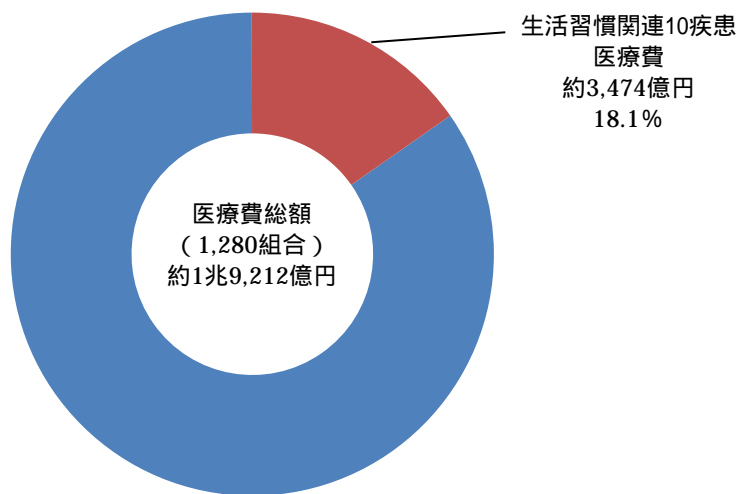
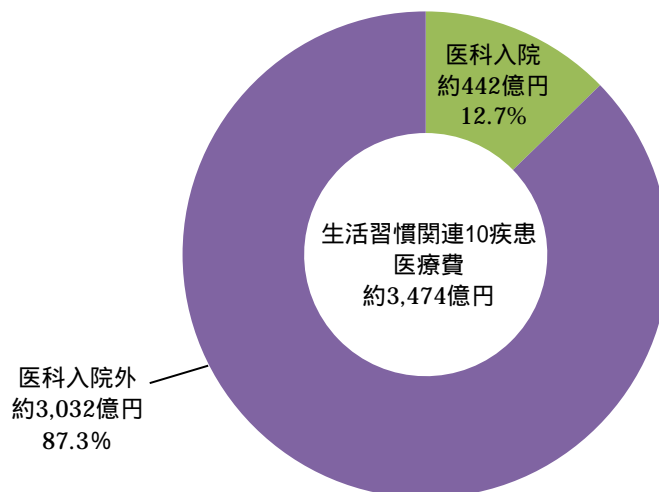


図14 診療区別にみた生活習慣関連10疾患の医療費構成割合
<本人>



(3) 家族

「家族」の医療費総額：約1兆5,615億円（1,280組合）のうち、生活習慣関連10疾患医療費は約1,080億円で、全体の6.9%を占めている。

診療区別にみると、「医科入院」：約148億円（13.7%）、「医科入院外」：約932億円（86.3%）となっている。

図15 総医療費に占める生活習慣関連10疾患の医療費構成割合
< 家族 >

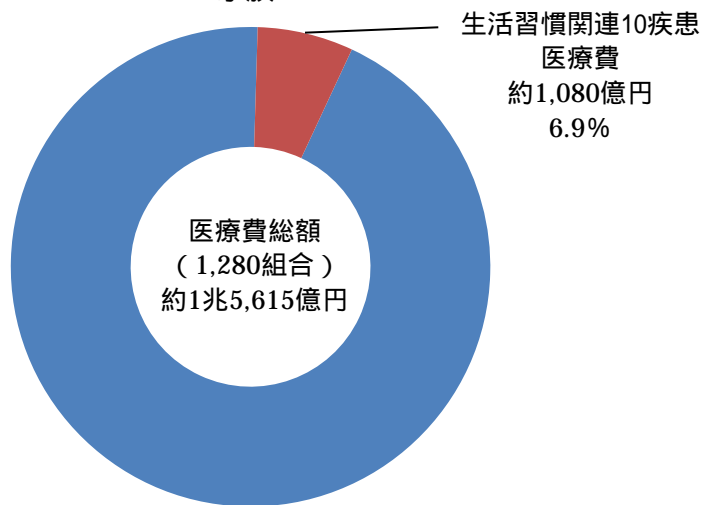
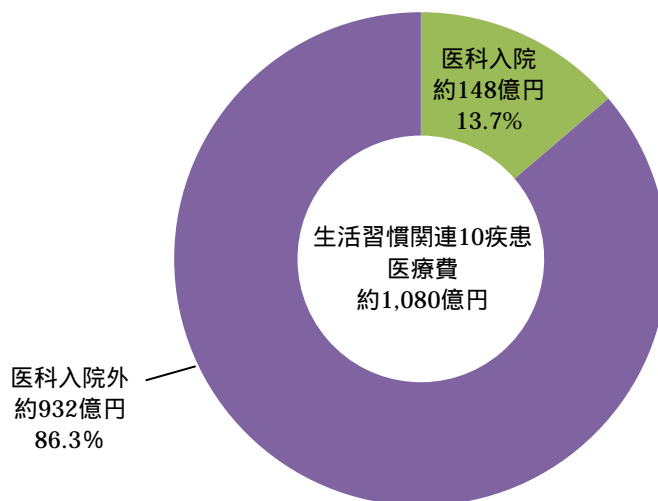


図16 診療区別にみた生活習慣関連10疾患の医療費構成割合
< 家族 >



5. 生活習慣関連 10 疾患別にみた医療費構成割合⁶

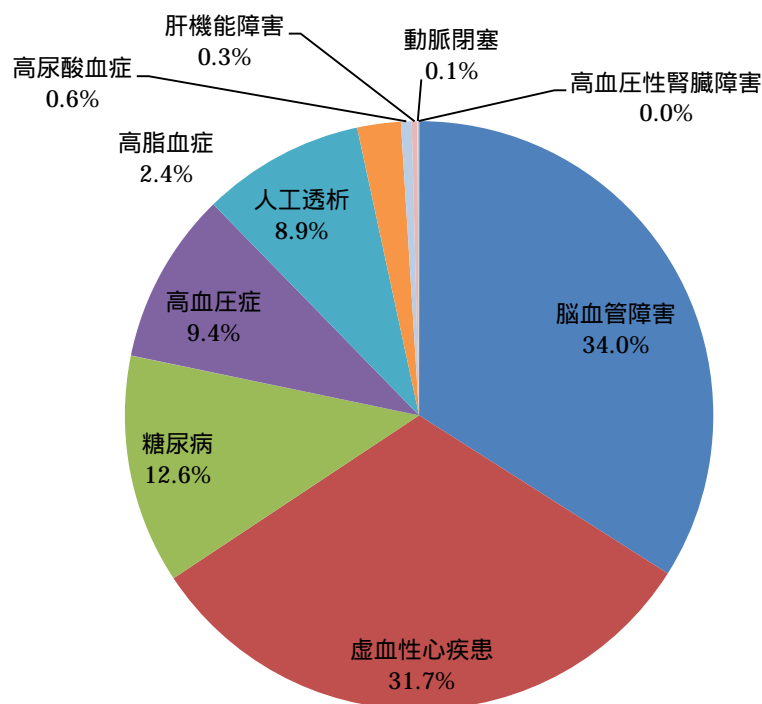
(1) 医科入院

生活習慣関連 10 疾患別の「医科入院」の医療費構成割合をみると、脳血管障害：34.0%が最も高く、次いで、虚血性心疾患：31.7%、糖尿病：12.6%となっている。

「本人」・「家族」別にみると（p.18）「本人」では、虚血性心疾患：37.6%が最も高く、次いで、脳血管障害：31.5%、糖尿病：11.8%となっている。

「家族」では、脳血管障害：41.3%が最も高く、次いで、糖尿病：14.9%、人工透析：14.6%となっている。

図17 生活習慣関連10疾患別医療費構成割合
【医科入院】
<合計>



⁶ 医療費構成割合は、生活習慣関連 10 疾患医療費の合計を 100%とした場合の割合である(以下、同じ)。

図18 生活習慣関連10疾患別医療費構成割合
【医科入院】
<本人>

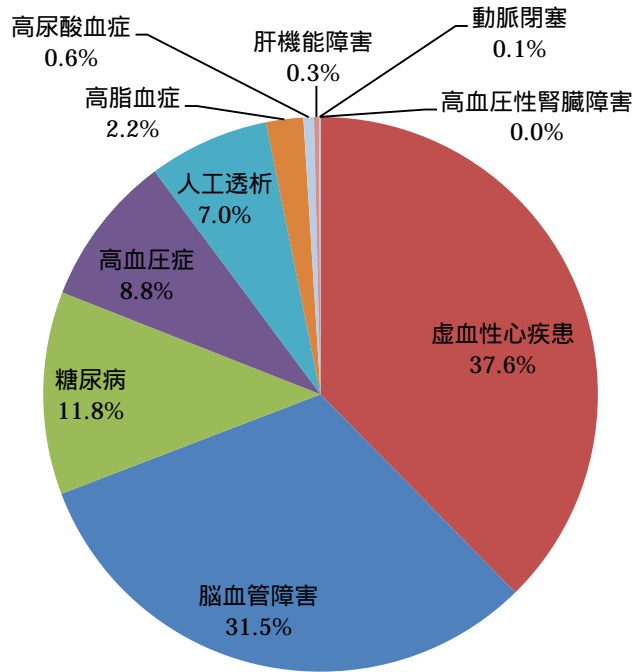
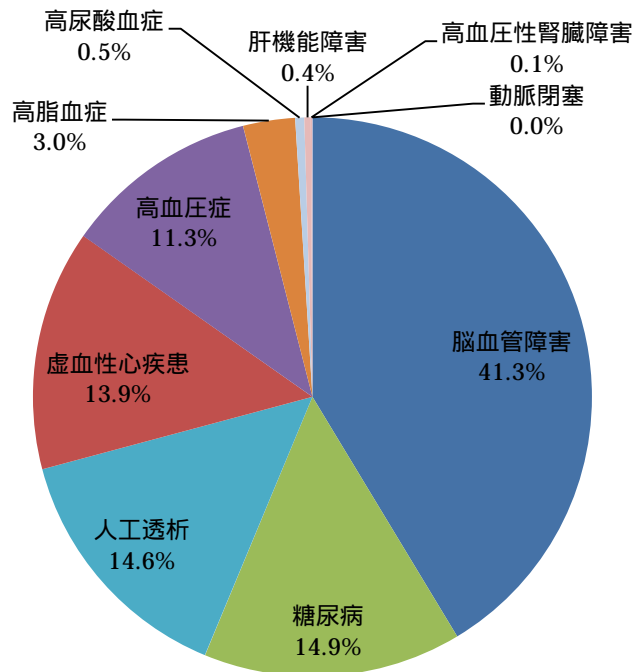


図19 生活習慣関連10疾患別医療費構成割合
【医科入院】
<家族>



(2) 医科入院外

生活習慣関連 10 疾患別の「医科入院外」の医療費構成割合をみると、糖尿病：29.1%が最も高く、次いで、高血圧症：29.0%、高脂血症：18.3%となっている。

「本人」・「家族」別にみると（p.20）「本人」では、高血圧症：29.9%が最も高く、次いで、糖尿病：29.7%、高脂血症：17.5%となっている。

「家族」では、糖尿病：27.1%、高血圧症：26.2%、高脂血症：20.9%となっている。

図20 生活習慣関連10疾患別医療費構成割合
【医科入院外】
<合計>

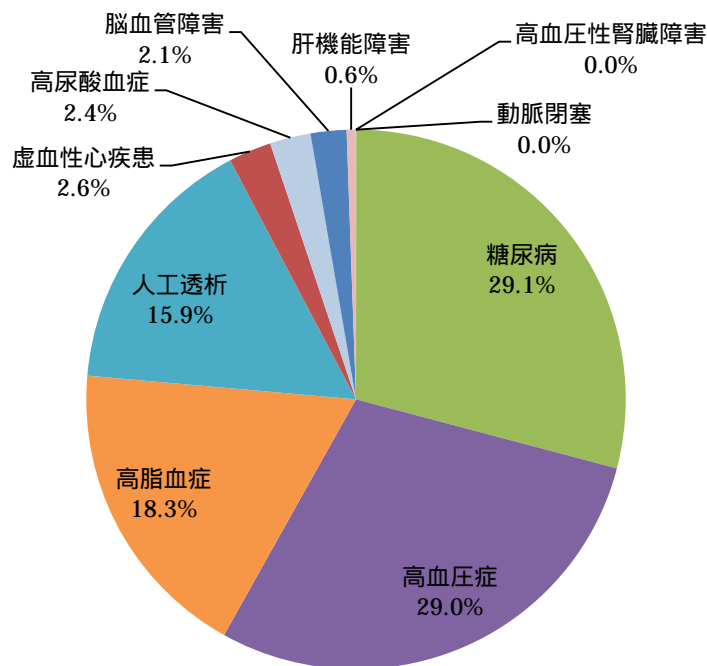


図21 生活習慣関連10疾患別医療費構成割合
【医科入院外】
<本人>

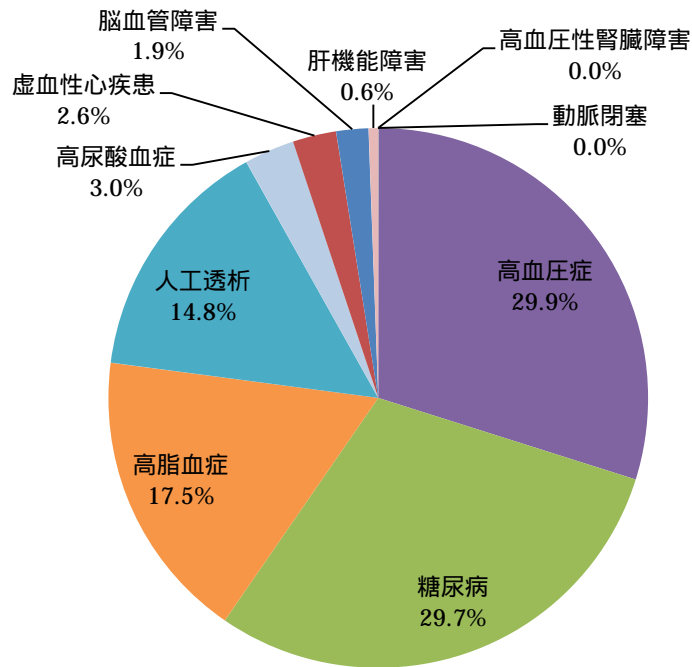
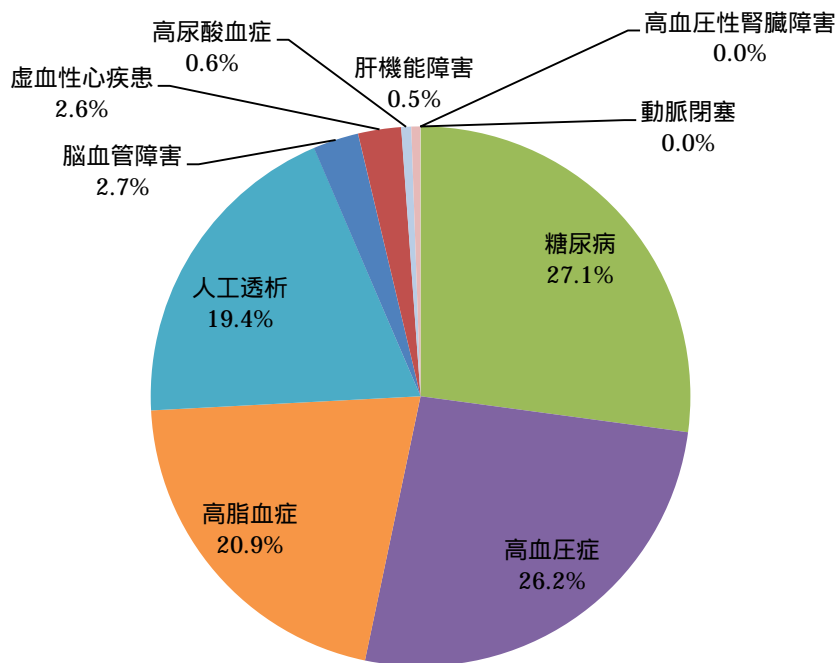


図22 生活習慣関連10疾患別医療費構成割合
【医科入院外】
<家族>



6. 年齢階層別にみた生活習慣関連 10 疾患医療費⁷及び医療費構成割合

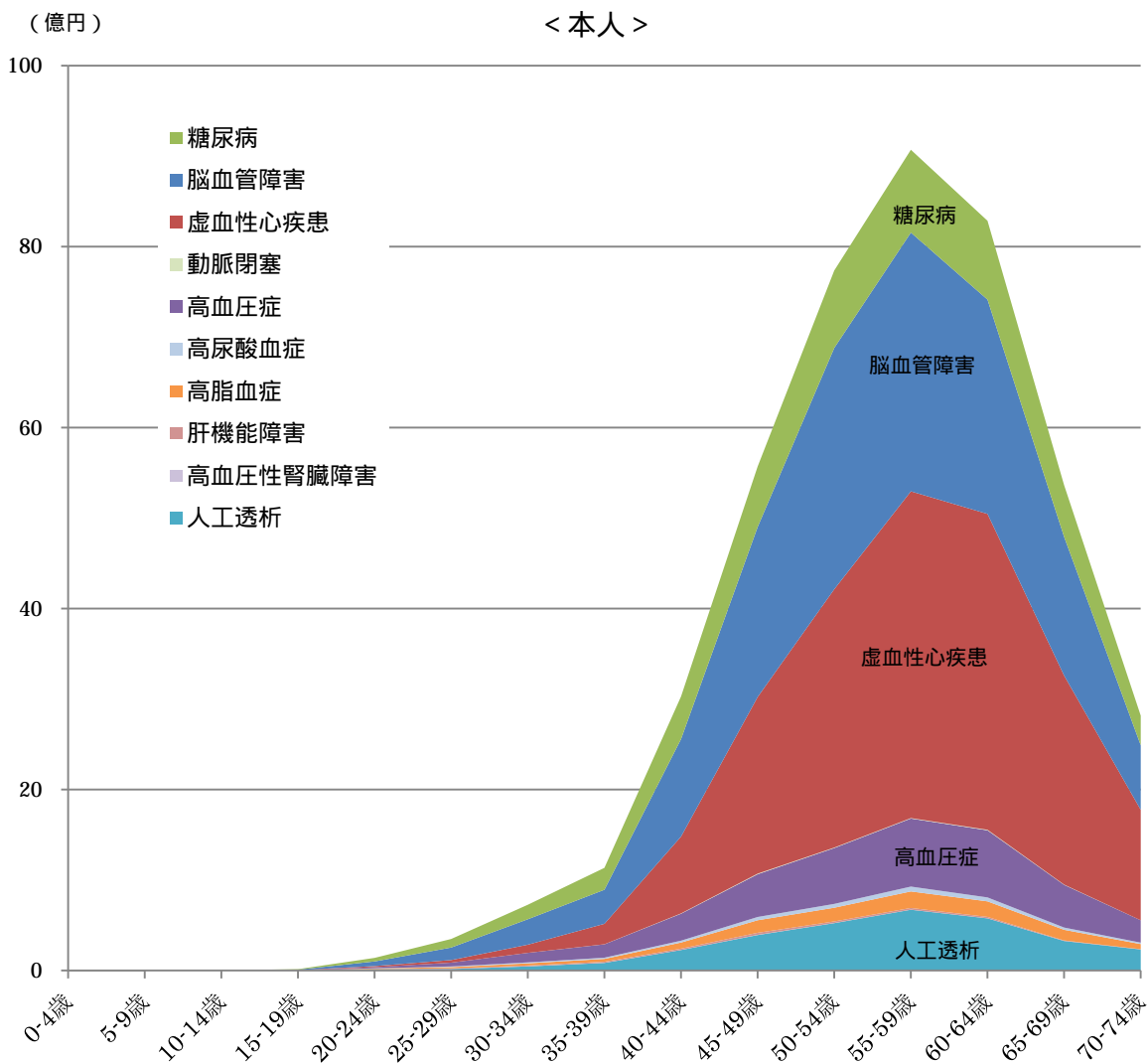
(1) 医科入院

「本人」

「医科入院」の生活習慣関連 10 疾患について、「本人」の年齢階層別医療費をみると、40 歳以降で高くなる傾向にあり、55-59 歳が最も高く、次いで、60-64 歳、50-54 歳の順となっている。

医療費の最も高い 55-59 歳についてその内訳をみると、虚血性心疾患が最も高く、次いで、脳血管障害、糖尿病の順となっている。

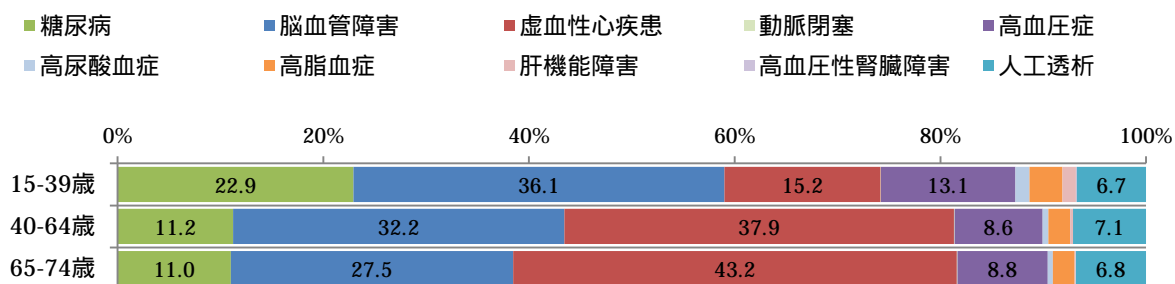
図23 年齢階層別生活習慣関連10疾患医療費
【医科入院】



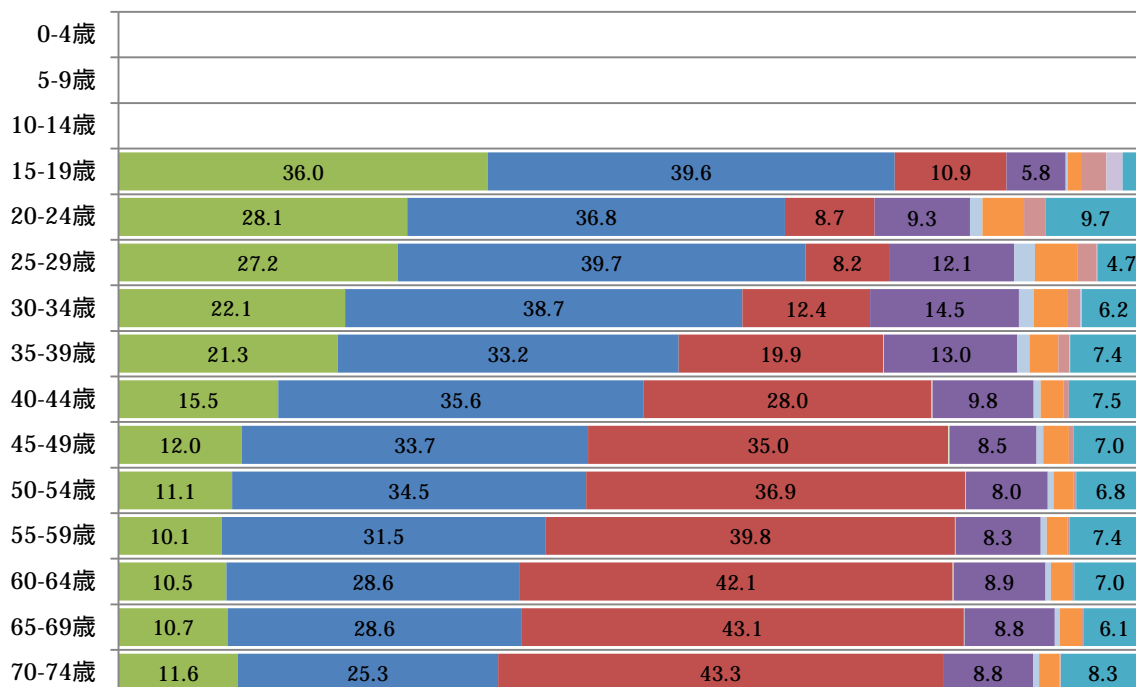
⁷ 図は年齢階層ごとの各疾患の総医療費を積上げたものである（以下、同じ）。

年齢階層別に医療費構成割合⁸をみると、15-39歳では、脳血管障害：36.1%が最も高く、次いで、糖尿病：22.9%、虚血性心疾患：15.2%となっている。40-64歳では、虚血性心疾患：37.9%が最も高く、次いで、脳血管障害：32.2%、糖尿病：11.2%となっている。前期高齢者（65-74歳）では、虚血性心疾患：43.2%が最も高く、脳血管障害：27.5%、糖尿病：11.0%となっている。

図24 年齢階層別生活習慣関連10疾患医療費構成割合
【医科入院】
<本人>



[年齢階層15分類]



⁸ 医療費構成割合は、各年齢階層の生活習慣関連10疾患医療費の合計を100%とした場合の割合である(以下、同じ)。

「家族」

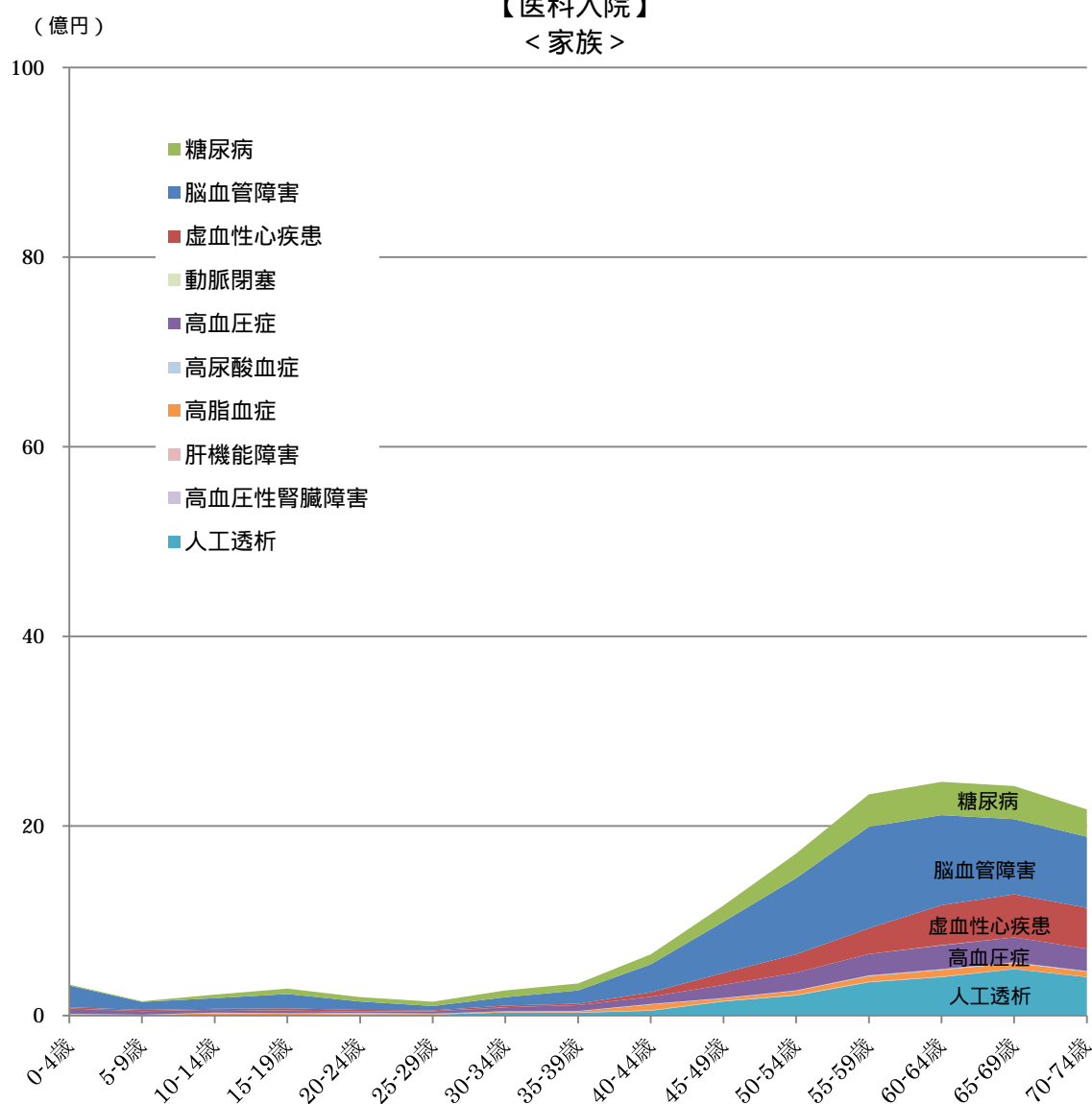
「医科入院」の生活習慣関連10疾患について、「家族」の年齢階層別医療費をみると、40歳以降で高くなる傾向にあり、60-64歳が最も高く、次いで、65-69歳、55-59歳の順となっている。

医療費の最も高い60-64歳について、その内訳をみると、脳血管障害が最も高く、次いで、虚血性心疾患、人工透析の順となっている。

図25 年齢階層別生活習慣関連10疾患医療費

【医科入院】

<家族>

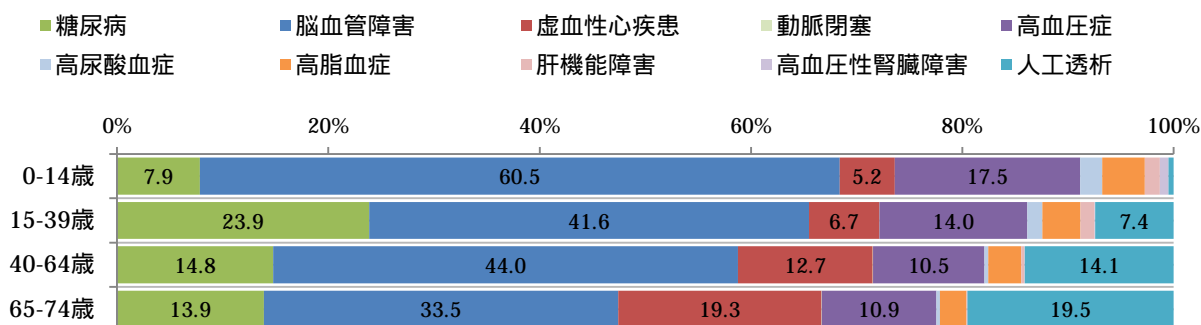


年齢階層別に医療費構成割合をみると、0-14 歳では、脳血管障害：60.5%が最も高く、次いで、高血圧症：17.5%、糖尿病：7.9%となっている。
 15-39 歳では、脳血管障害：41.6%が最も高く、次いで、糖尿病：23.9%、高血圧症：14.0%となっている。
 40-64 歳では、脳血管障害：44.0%が最も高く、次いで、糖尿病：14.8%、人工透析：14.1%となっている。
 前期高齢者(65-74 歳)では、脳血管障害：33.5%が最も高く、人工透析：19.5%、虚血性心疾患：19.3%となっている。

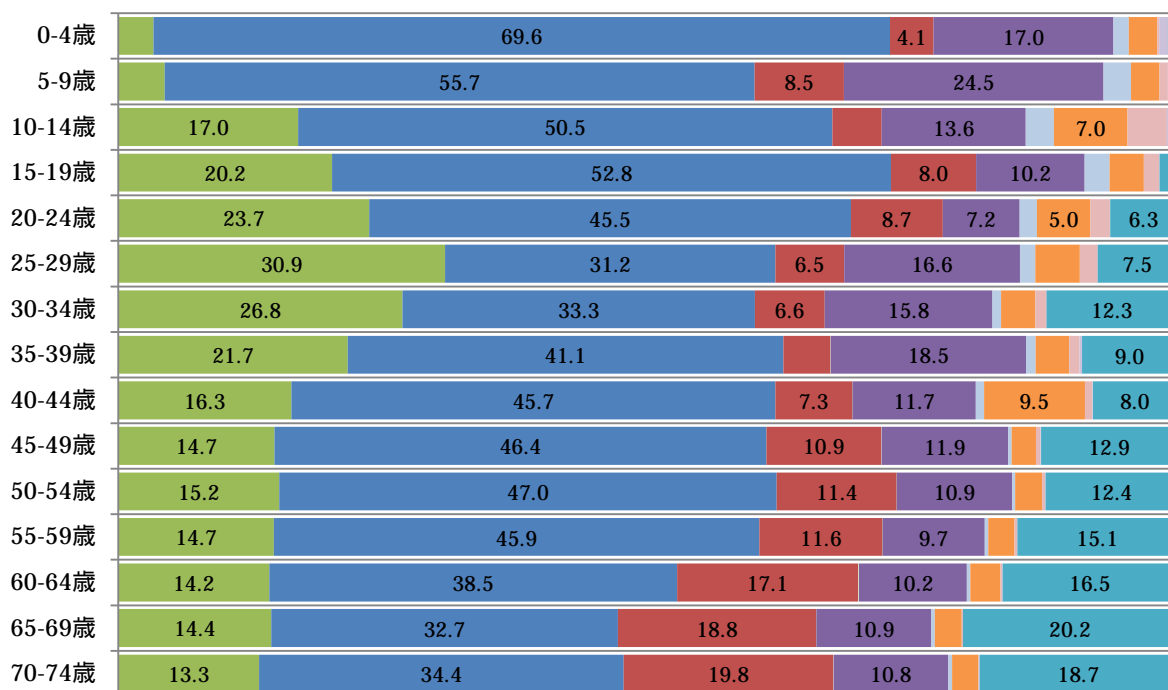
図26 年齢階層別生活習慣関連10疾患医療費構成割合

【医科入院】

< 家族 >



[年齢階層15分類]



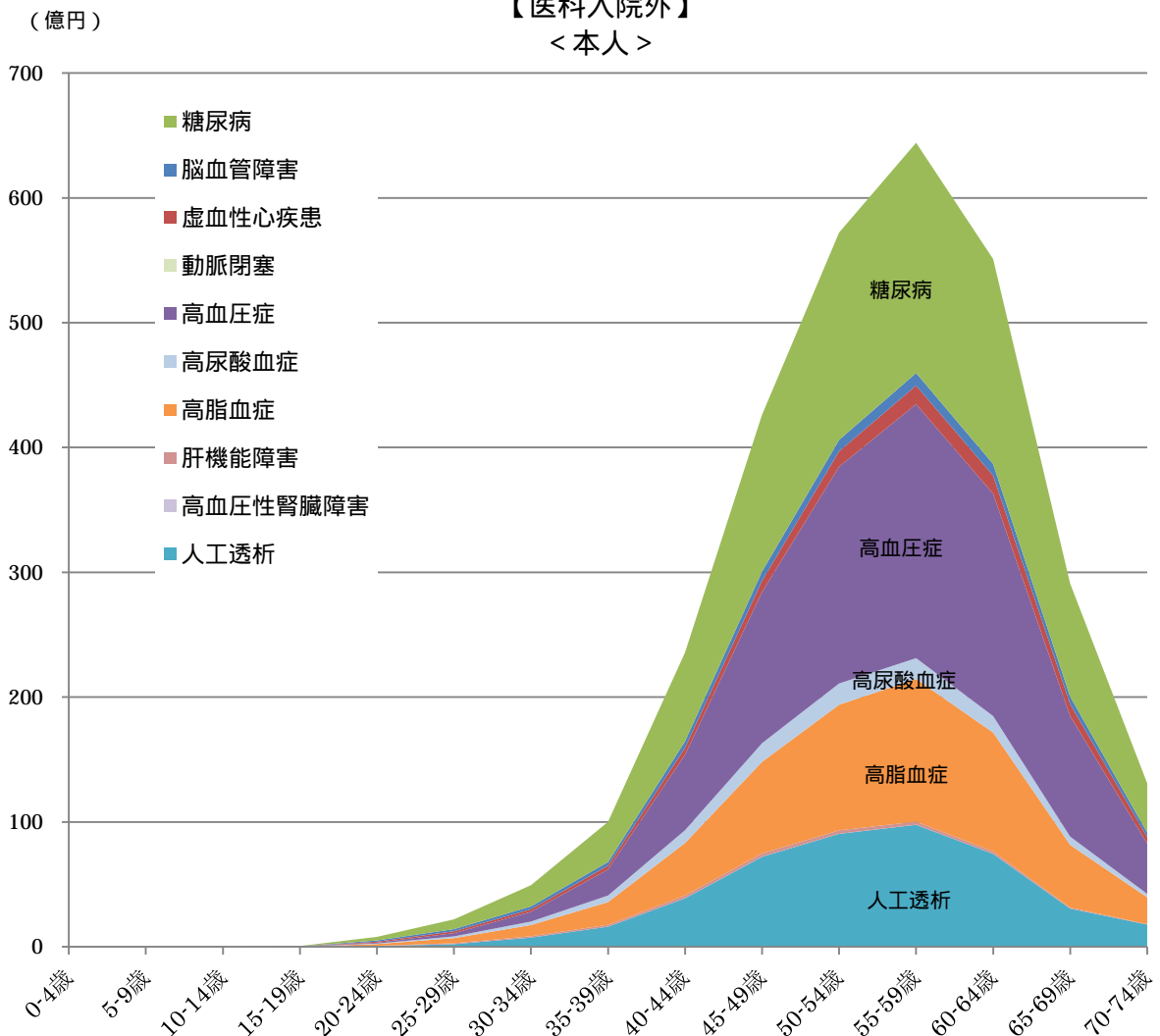
(2) 医科入院外

「本人」

「医科入院外」の生活習慣関連10疾患について、「本人」の年齢階層別医療費をみると、55-59歳が最も高く、次いで、50-54歳、60-64歳の順となっている。

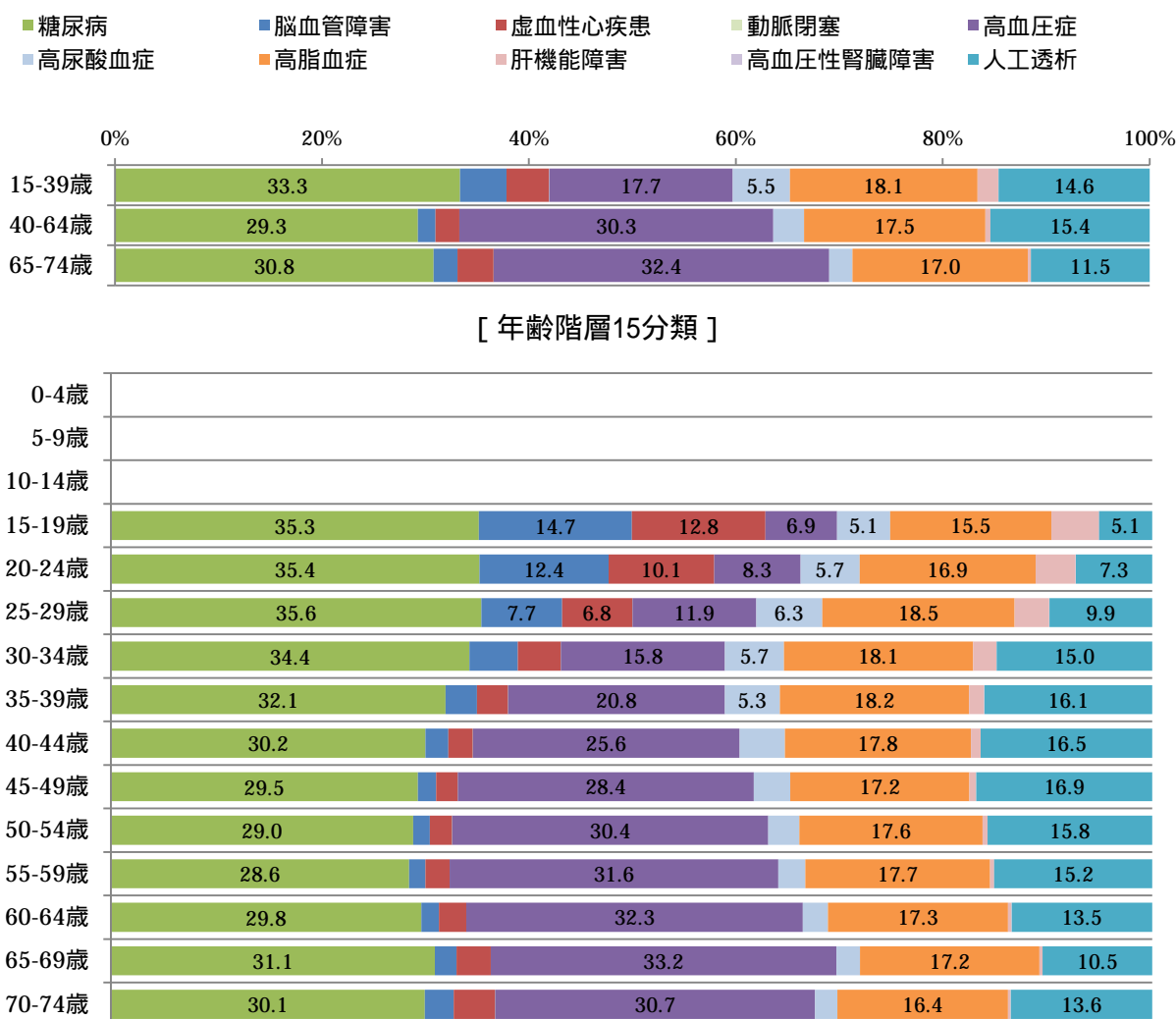
医療費の最も高い55-59歳について、その内訳をみると、高血圧症が最も高く、次いで、糖尿病、高脂血症の順となっている。

図27 年齢階層別生活習慣関連10疾患医療費
【医科入院外】



年齢階層別に医療費構成割合をみると、15-39 歳では、糖尿病：33.3%が最も高く、次いで、高脂血症：18.1%、高血圧症：17.7%となっている。
 40-64 歳では、高血圧症：30.3%が最も高く、次いで、糖尿病：29.3%、高脂血症：17.5%となっている。
 前期高齢者（65-74 歳）では、高血圧症：32.4%が最も高く、糖尿病：30.8%、高脂血症：17.0%となっている。

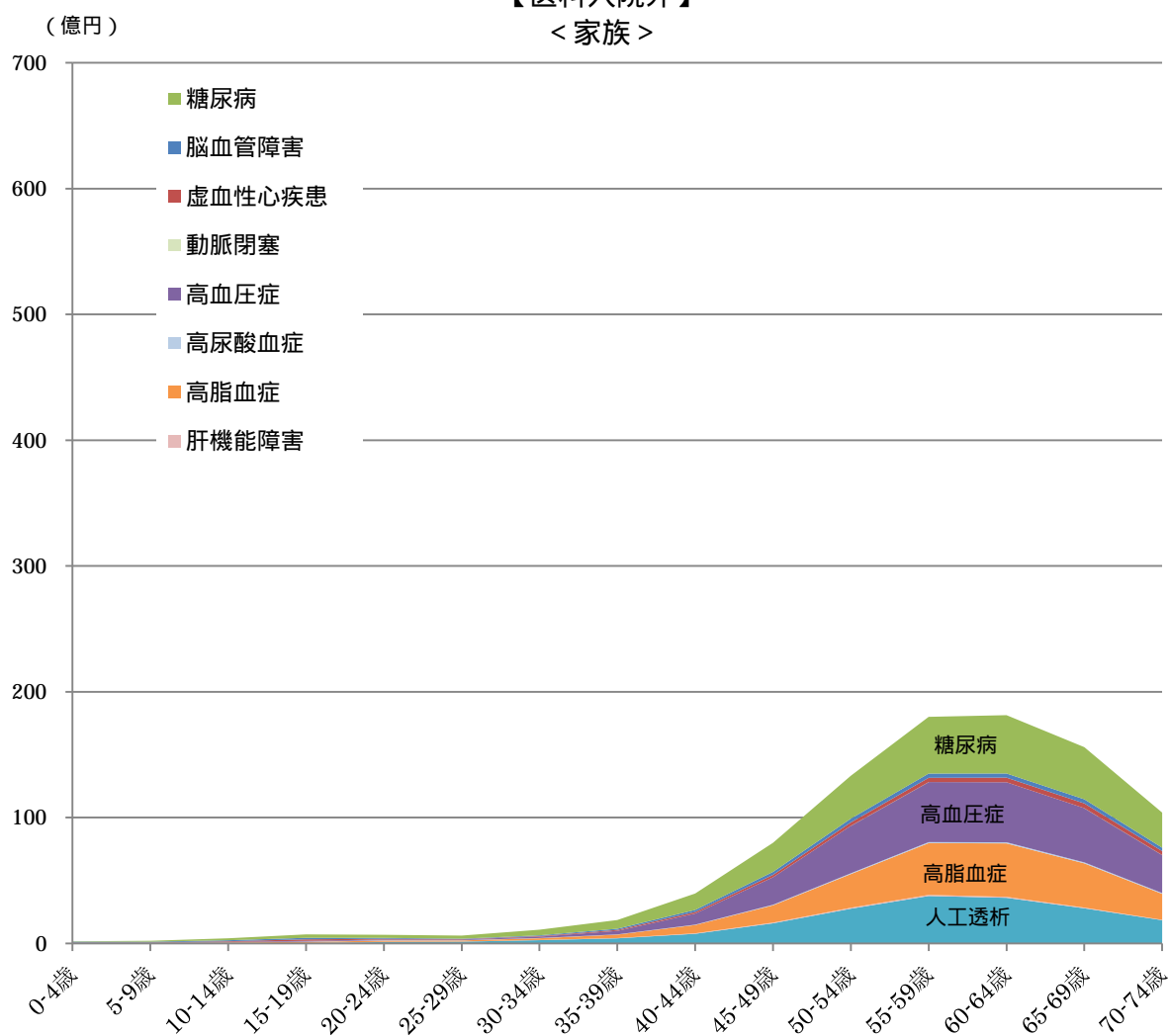
図28 年齢階層別生活習慣関連10疾患医療費構成割合
 【医科入院外】
 <本人>



「家族」

「医科入院外」の生活習慣関連10疾患について、「家族」の年齢階層別医療費をみると、60-64歳が最も高く、次いで、55-59歳、65-69歳の順となっている。医療費の最も高い60-64歳について、その内訳をみると、高血圧症が最も高く、次いで、糖尿病、高脂血症の順となっている。

図29 年齢階層別生活習慣関連10疾患医療費
【医科入院外】
< 家族 >



年齢階層別に医療費構成割合をみると、0-14歳では、糖尿病：33.4%が最も高く、次いで、脳血管障害：25.5%、高脂血症：12.9%となっている。

15-39歳では、糖尿病：38.6%が最も高く、次いで、人工透析：18.6%、高脂血症：13.6%となっている。

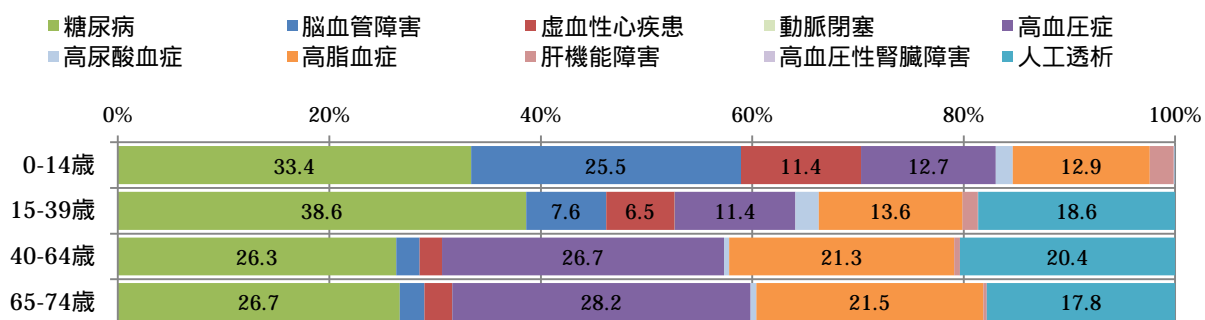
40-64歳では、高血圧症：26.7%が最も高く、次いで、糖尿病：26.3%、高脂血症：21.3%となっている。

前期高齢者（65-74歳）では、高血圧症：28.2%が最も高く、糖尿病：26.7%、高脂血症：21.5%となっている。

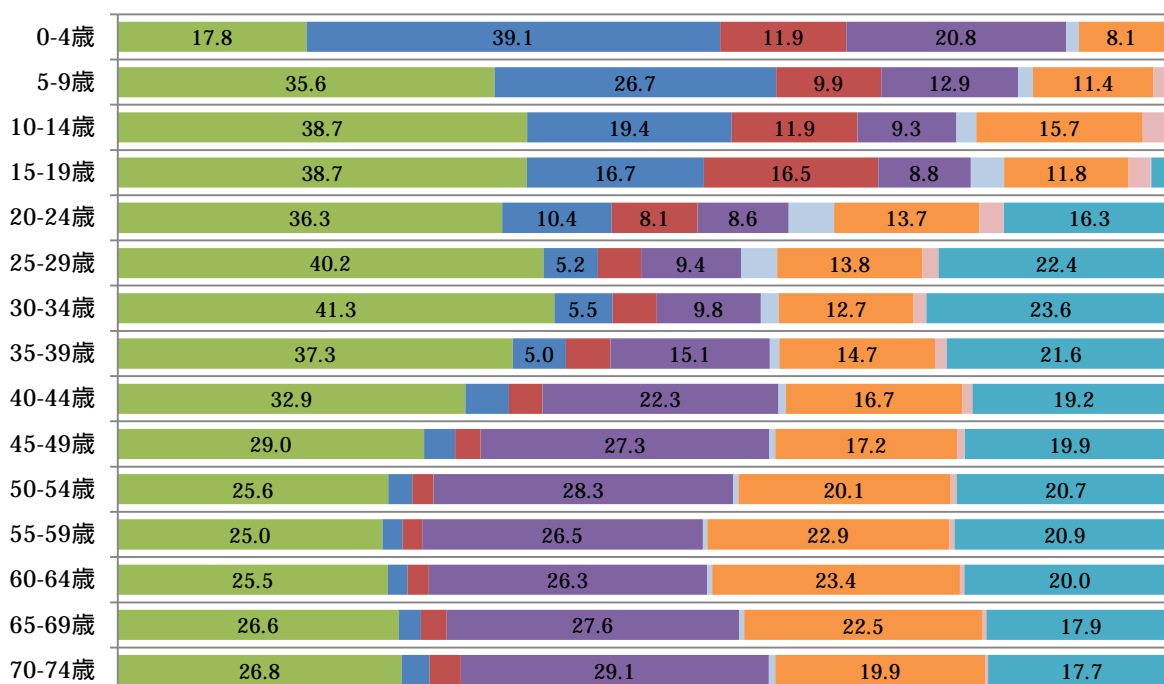
図30 年齢階層別生活習慣関連10疾患医療費構成割合

【医科入院外】

< 家族 >



[年齢階層15分類]



7. 生活習慣関連 10 疾患別にみた 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素

(1) 医科入院

「医科入院」の生活習慣関連 10 疾患について、1 人当たり医療費をみると、「本人」では、 虚血性心疾患：1,062 円が最も高く、次いで、 脳血管障害：890 円、糖尿病：333 円の順となっている。

「家族」では、 脳血管障害：505 円が最も高く、次いで、 糖尿病：183 円、人工透析：178 円の順となっている。

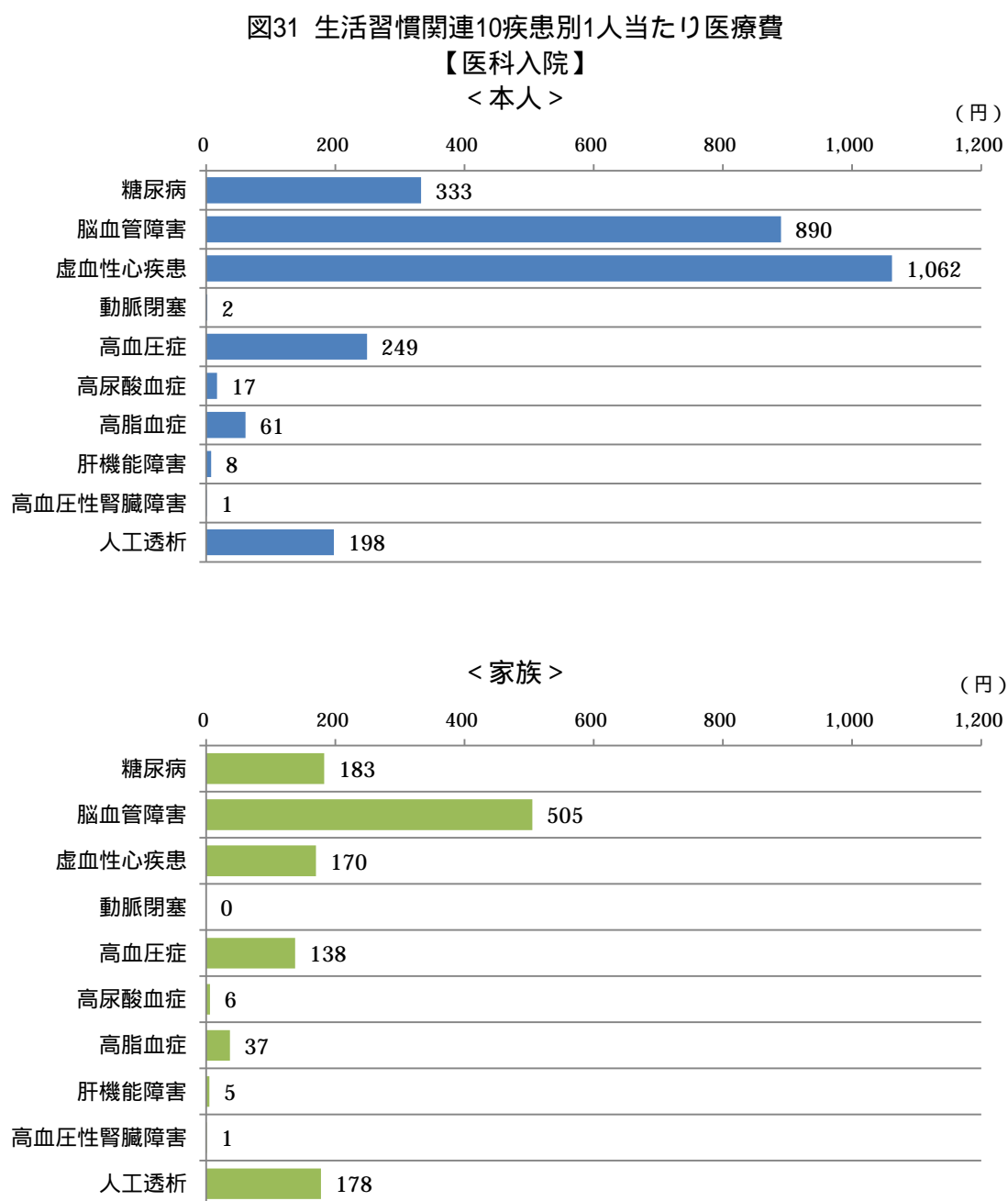


図 32 生活習慣関連 10 疾患別医療費 3 要素

【医科入院】

< 本人 >

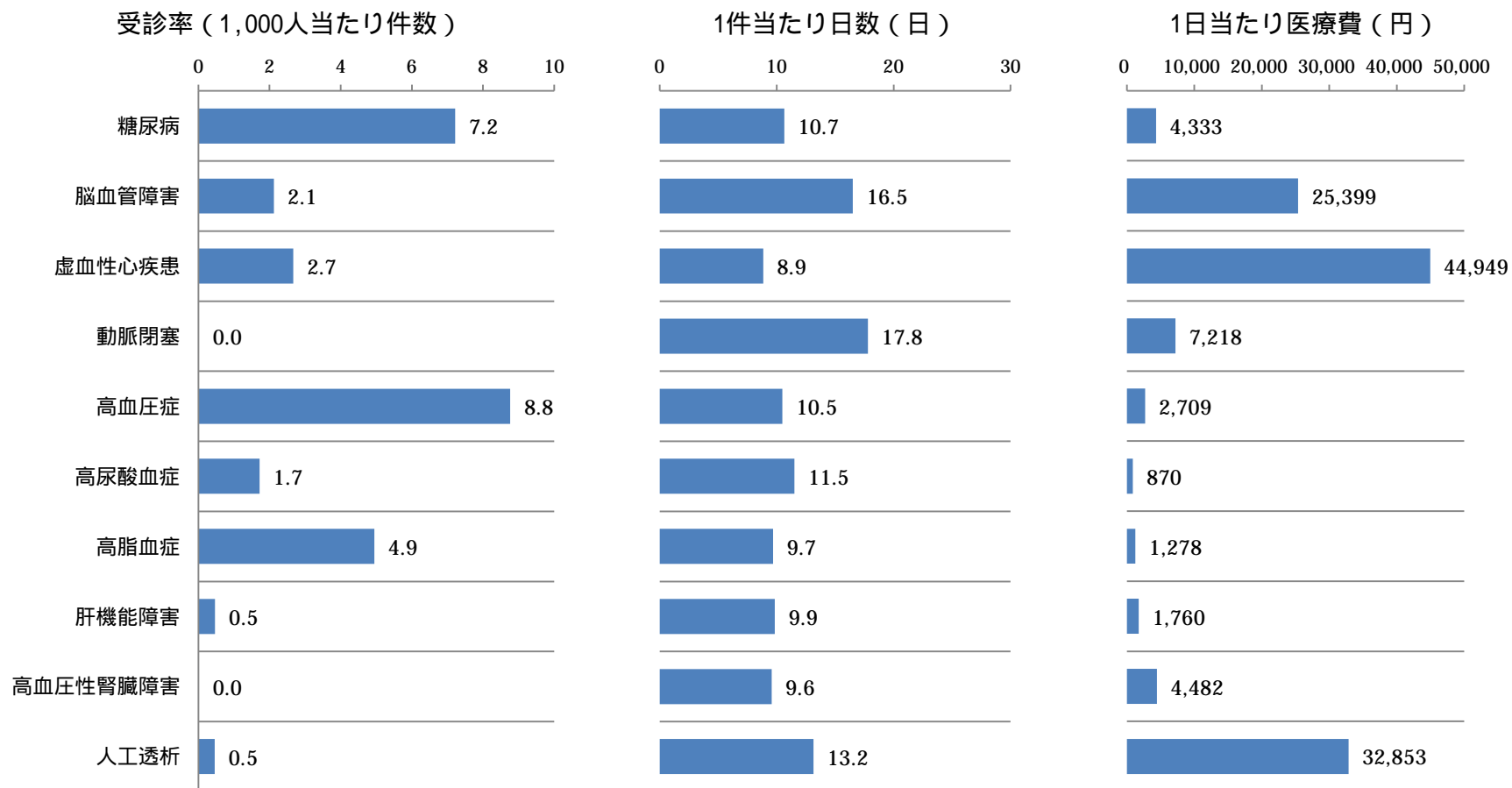
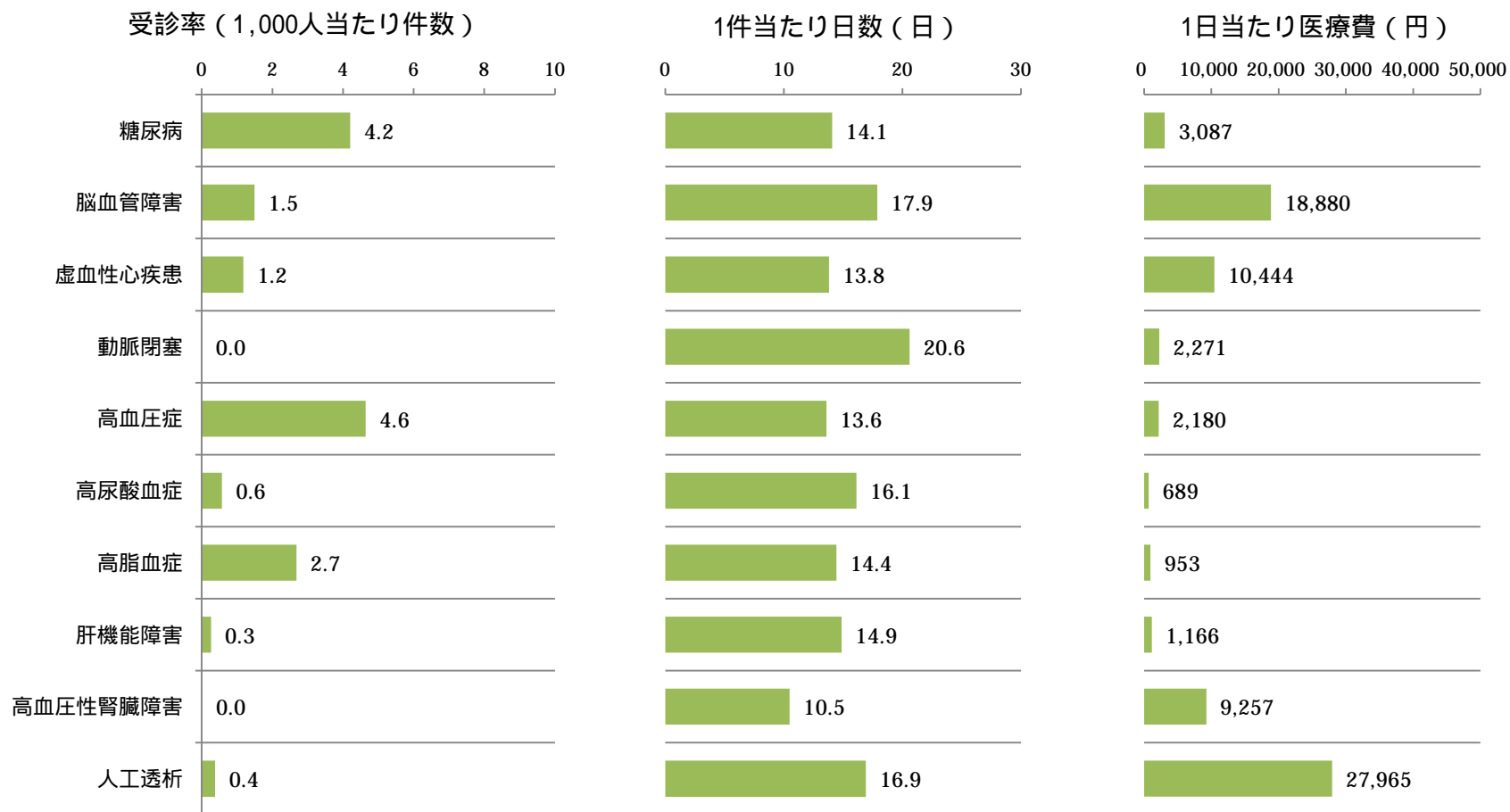


図 33 生活習慣関連 10 疾患別医療費 3 要素

【医科入院】

< 家族 >



(2) 医科入院外

「医科入院外」の生活習慣関連 10 疾患について、1 人当たり医療費をみると、「本人」では、 高血圧症：5,776 円が最も高く、次いで、 糖尿病：5,750 円、 高脂血症：3,380 円の順となっている。

「家族」では、 糖尿病：2,081 円、 高血圧症：2,008 円、 高脂血症：1,601 円の順となっている。

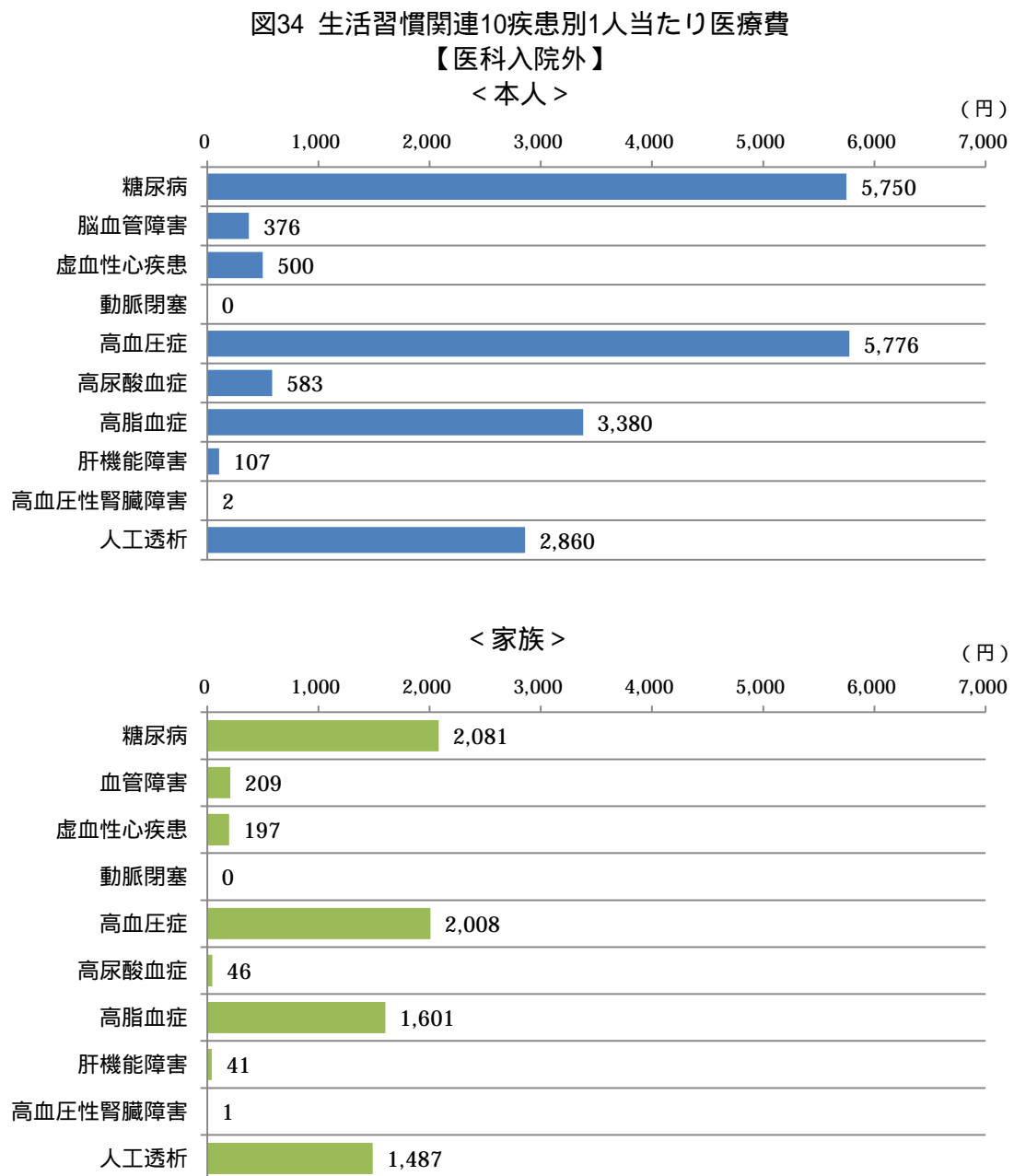


図 35 生活習慣関連 10 疾患別医療費 3 要素

【医科入院外】

< 本人 >

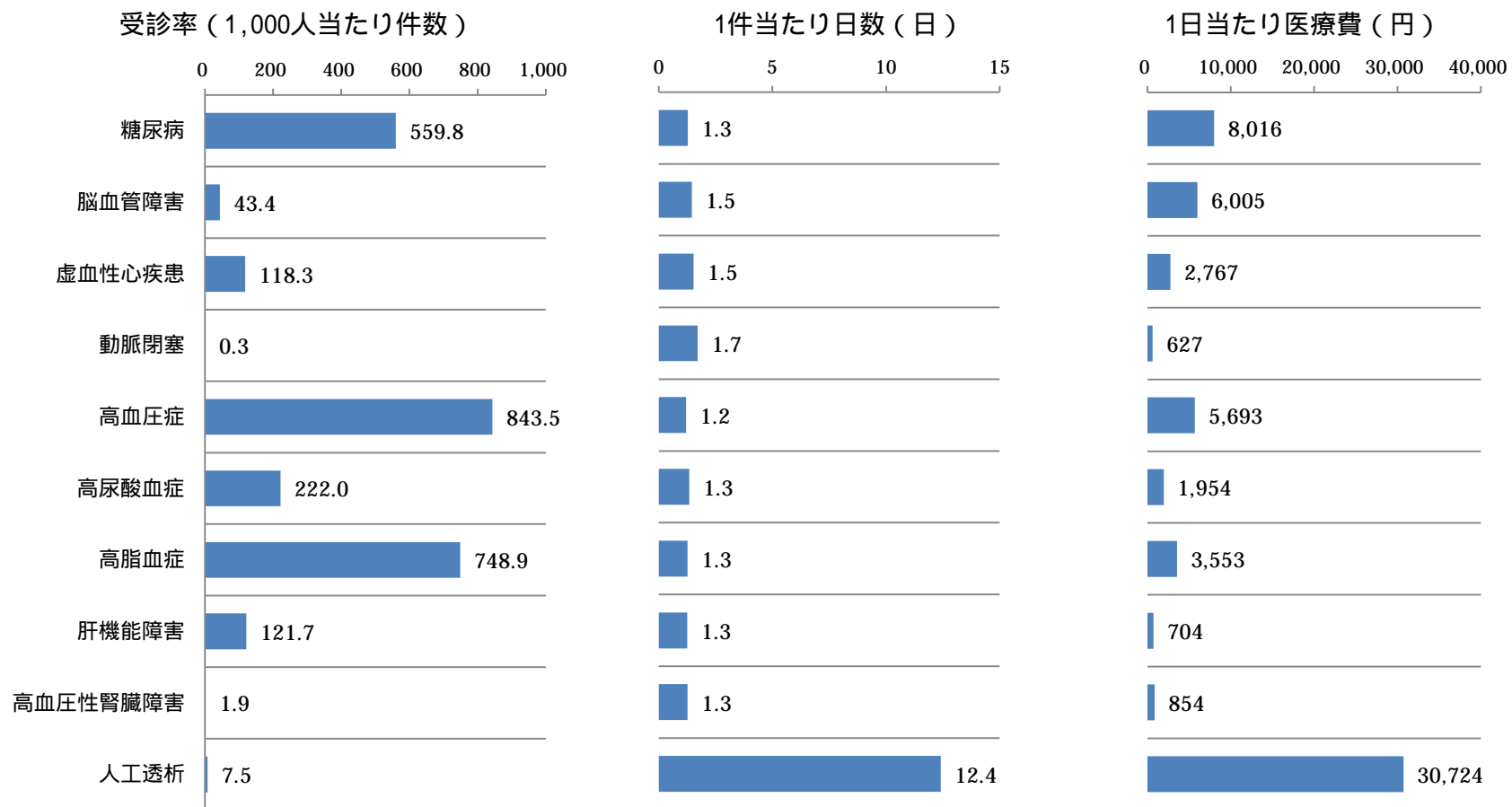
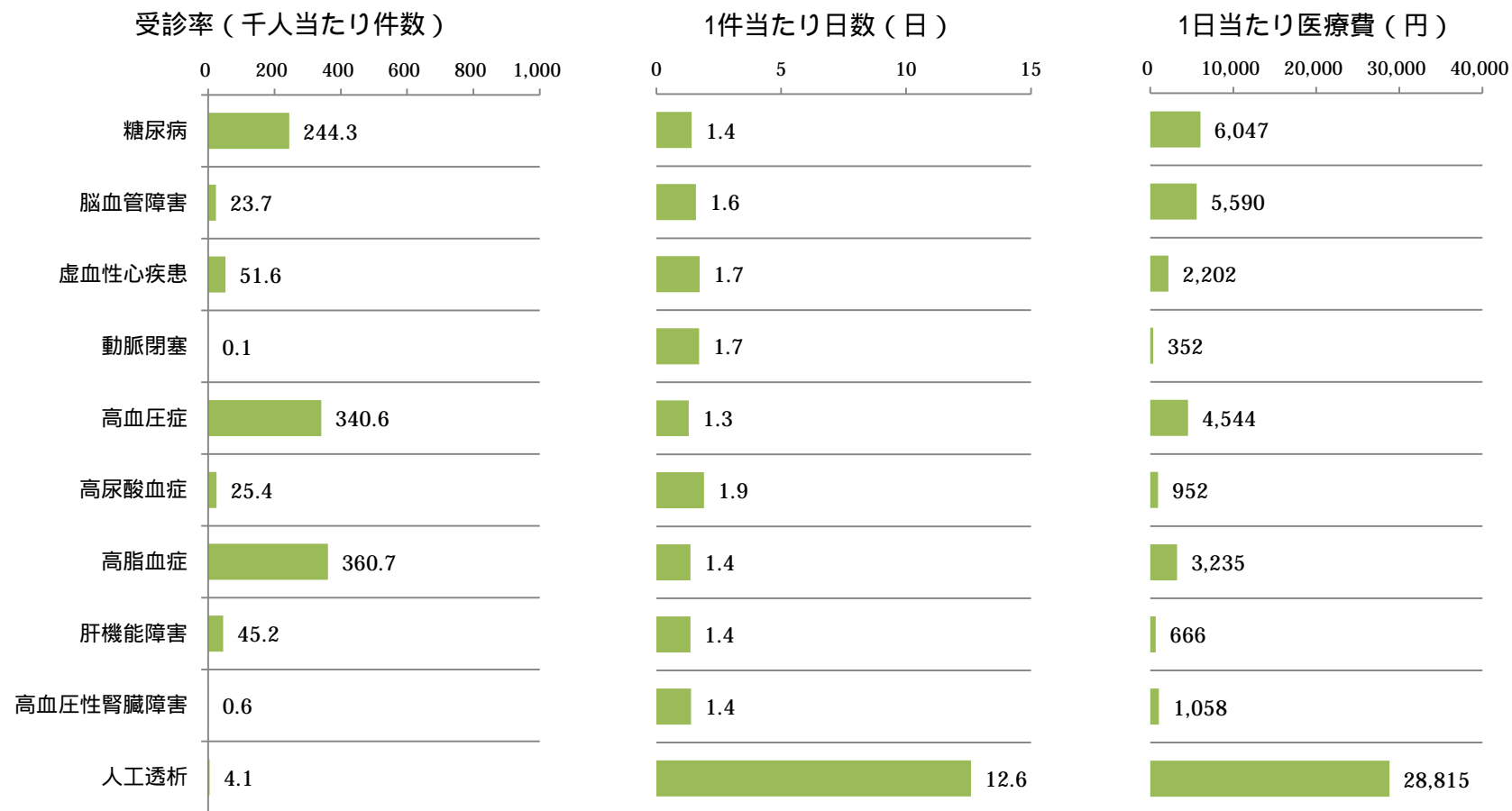


図 36 生活習慣関連 10 疾患別医療費 3 要素

【医科入院外】

< 家族 >



8. 年齢階層別にみた生活習慣関連10疾患別1人当たり医療費

(1) 医科入院

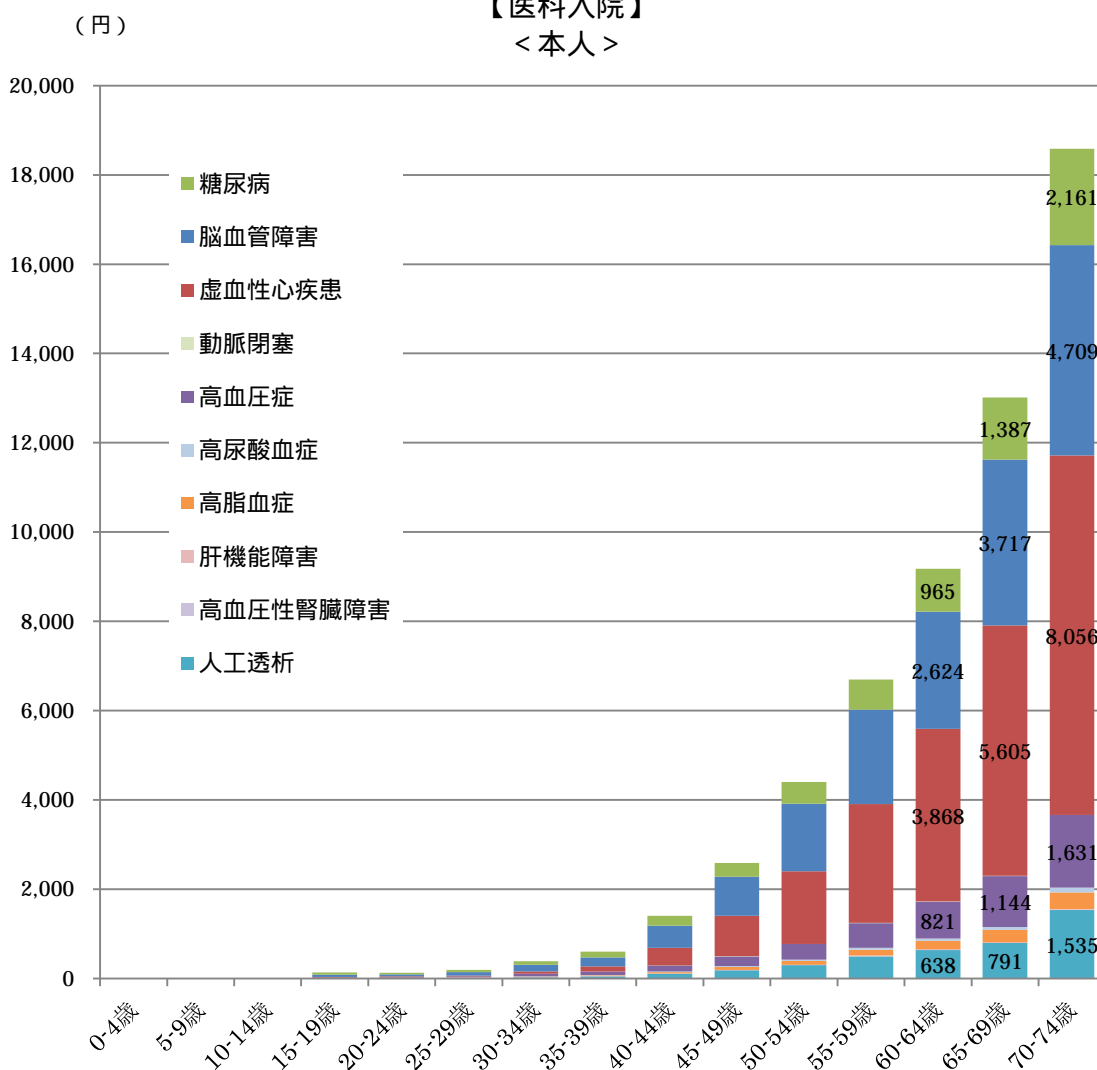
「本人」

「医科入院」の生活習慣関連疾患について、「本人」の年齢階層別1人当たり医療費をみると、年齢階層が上がるにつれて高くなっており、70-74歳が最も高い。1人当たり医療費の最も高い70-74歳について、その内訳をみると、虚血性心疾患：8,056円が最も高く、次いで、脳血管障害：4,709円、糖尿病：2,161円の順となっている。

図37 年齢階層別生活習慣関連10疾患別1人当たり医療費

【医科入院】

<本人>

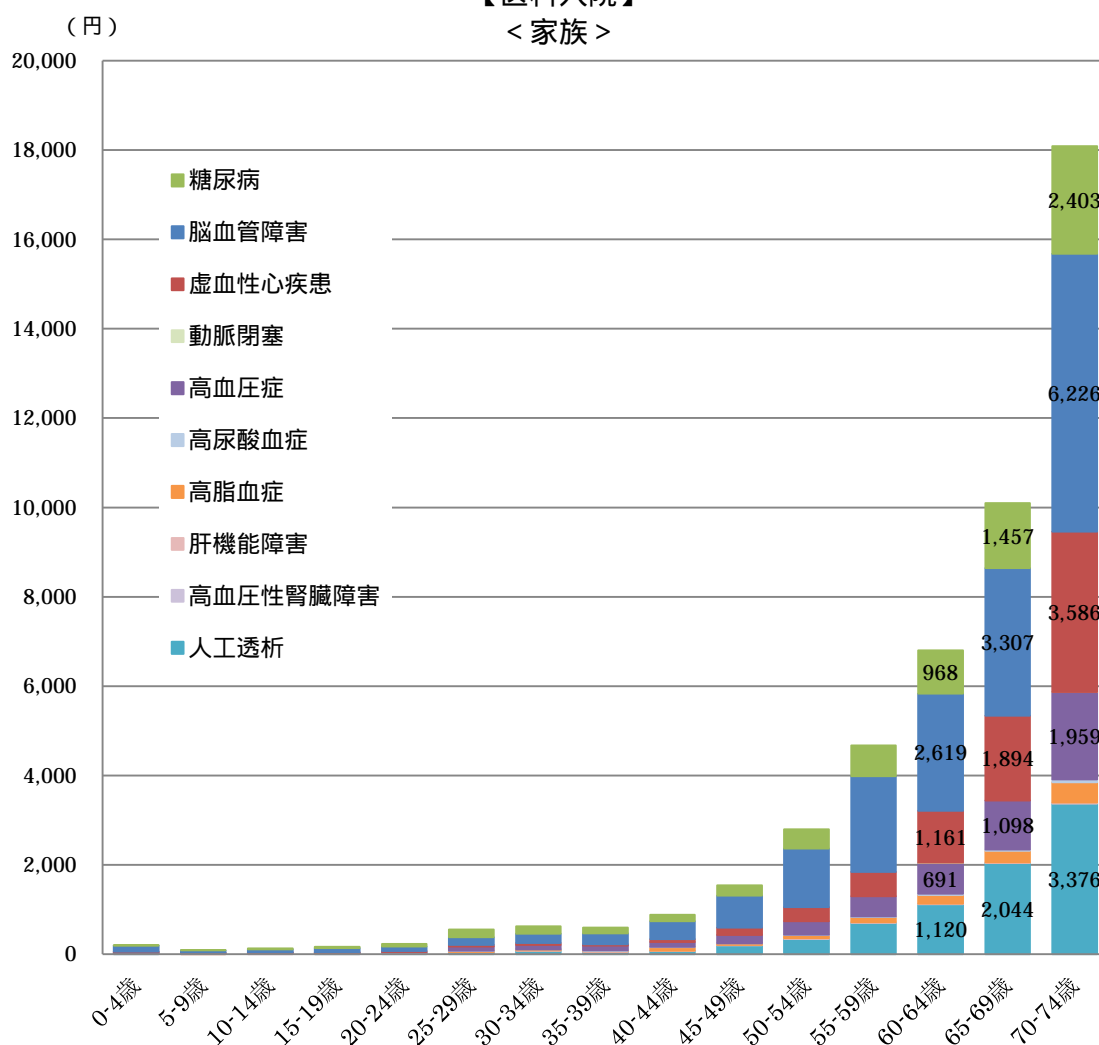


「家族」

「医科入院」の生活習慣関連10疾患について、「本人」の年齢階層別1人当たり医療費をみると、年齢階層が上がるにつれて高くなっており、70-74歳が最も高い。

1人当たり医療費の最も高い70-74歳について、その内訳をみると、脳血管障害：6,226円が最も高く、次いで、虚血性心疾患：3,586円、人工透析：3,376円の順となっている。

図38 年齢階層別生活習慣関連10疾患別1人当たり医療費
【医科入院】
<家族>



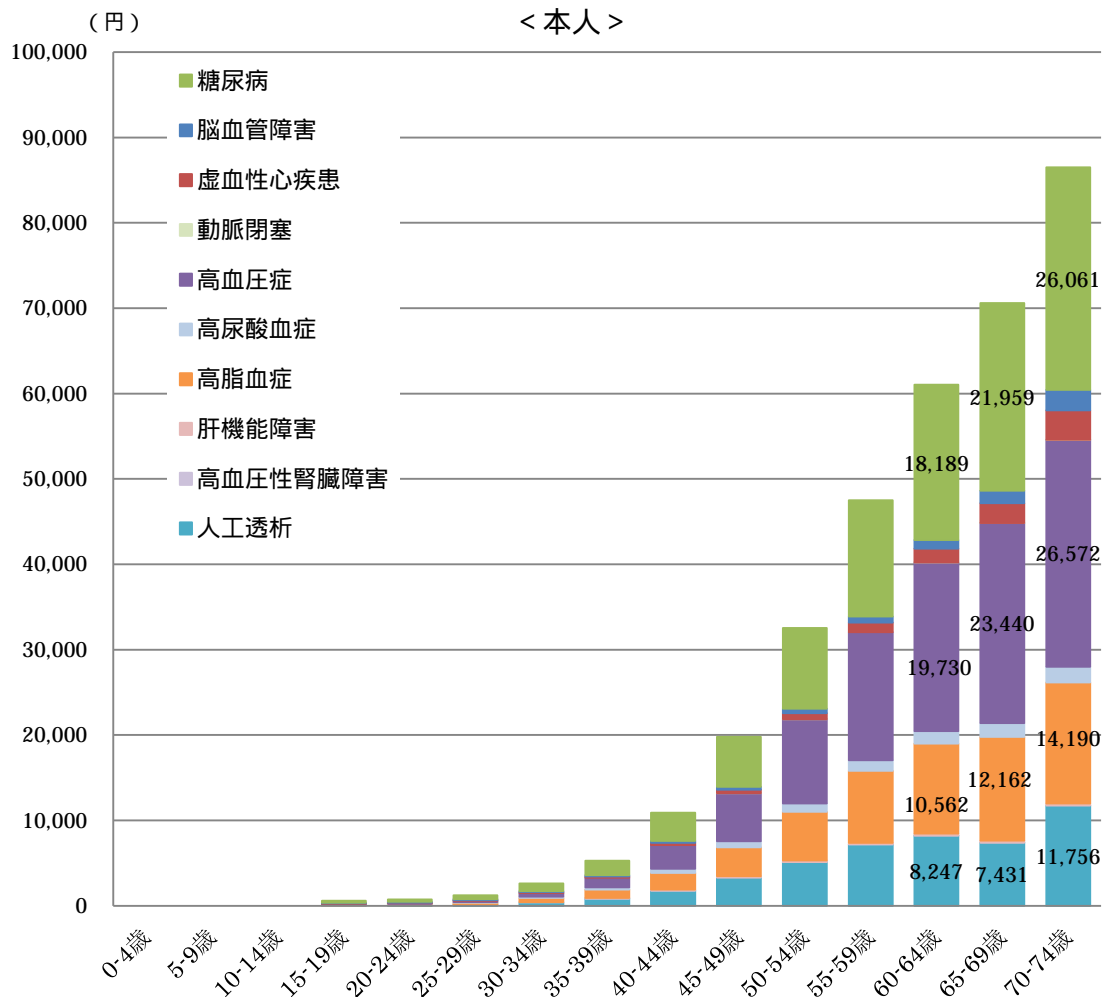
(2) 医科入院外

「本人」

「医科入院外」の生活習慣関連10疾患について、「本人」の年齢階層別1人当たり医療費をみると、年齢階層が上がるにつれて高くなっており、70-74歳が最も高い。

1人当たり医療費の最も高い70-74歳について、その内訳をみると、高血圧症：2万6,572円が最も高く、次いで、糖尿病：2万6,061円、高脂血症：1万4,190円の順となっている。

図39 年齢階層別生活習慣関連10疾患別1人当たり医療費
【医科入院外】

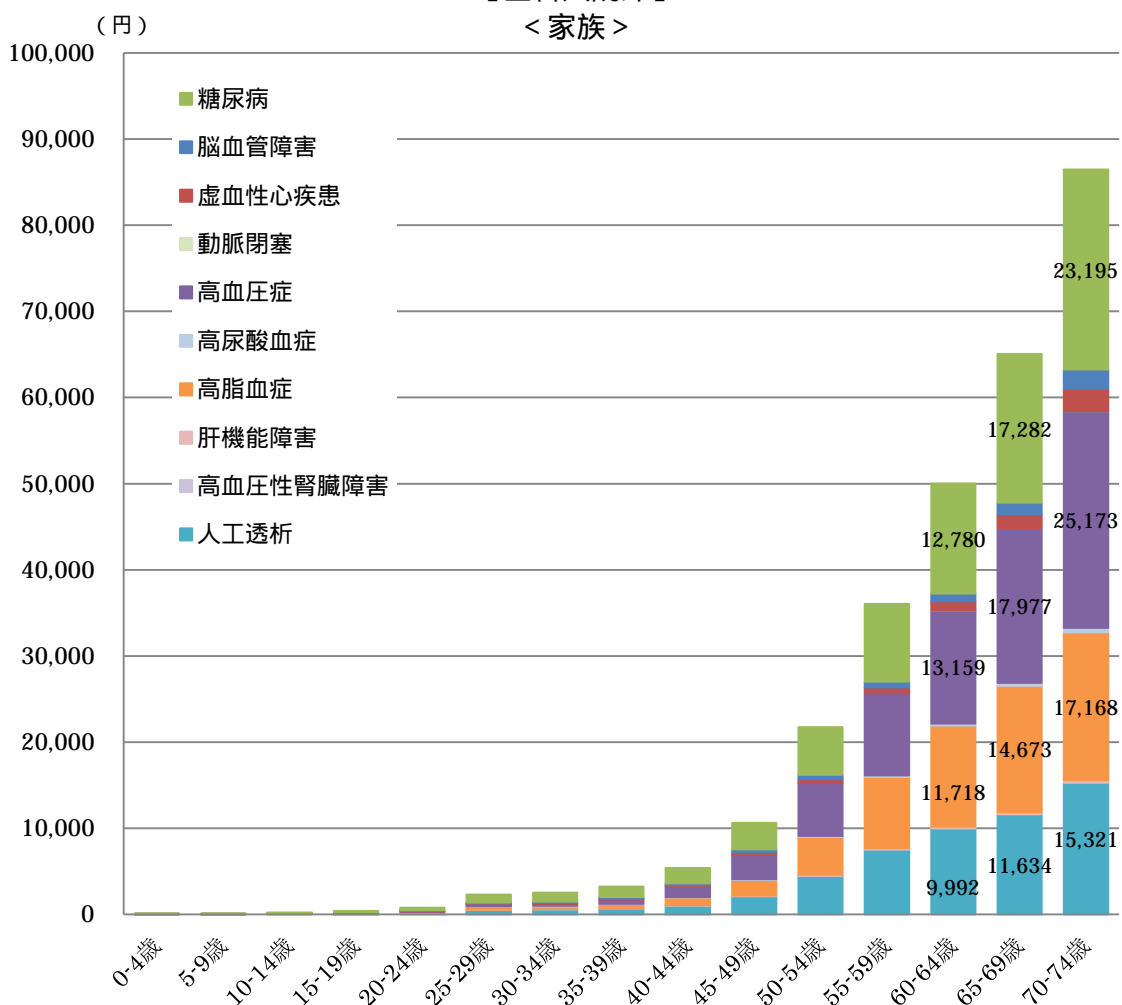


「家族」

「医科入院外」の生活習慣関連10疾患について、「家族」の年齢階層別1人当たり医療費をみると、年齢階層が上がるにつれて高くなっており、70-74歳が最も高い。

1人当たり医療費の最も高い70-74歳について、その内訳をみると、高血圧症：2万5,173円が最も高く、次いで、糖尿病：2万3,195円、高脂血症：1万7,168円の順となっている。

図40 年齢階層別生活習慣関連10疾患別1人当たり医療費
【医科入院外】
< 家族 >



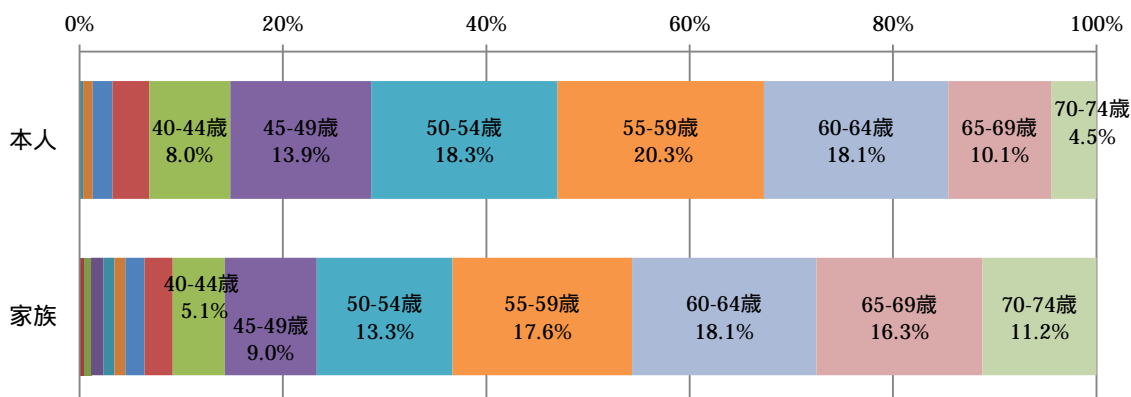
9. 生活習慣関連 10 疾患別にみた年齢階層別医療費構成割合⁹

(1) 糖尿病

年齢階層別に「糖尿病」の医療費割合をみると、「本人」では、55-59歳：20.3%が最も高く、次いで、50-54歳：18.3%、60-64歳：18.1%となっている。

「家族」では、60-64歳：18.1%が最も高く、次いで、55-59歳：17.6%、65-69歳：16.3%となっている。

図 41 糖尿病

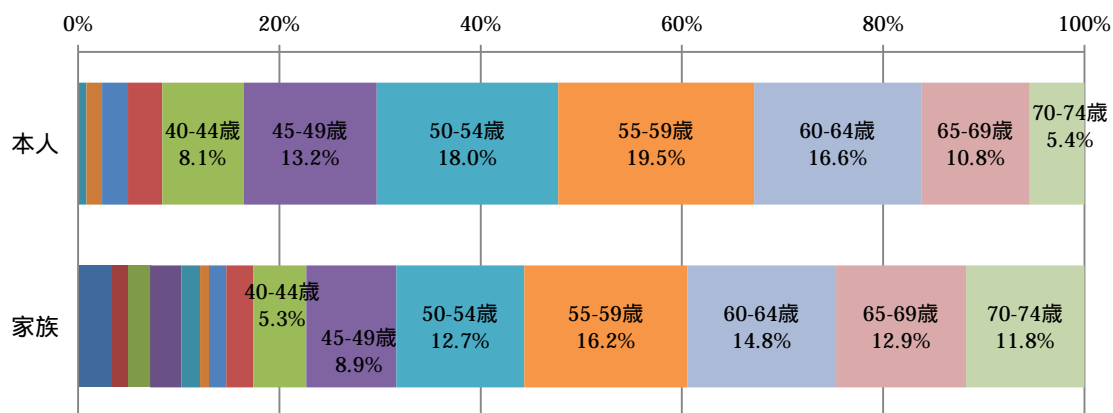


(2) 脳血管障害

年齢階層別に「脳血管障害」の医療費割合をみると、「本人」では、55-59歳：19.5%が最も高く、次いで、50-54歳：18.0%、60-64歳：16.6%となっている。

「家族」では、55-59歳：16.2%が最も高く、次いで、60-64歳：14.8%、65-69歳：12.9%となっている。

図 42 脳血管障害



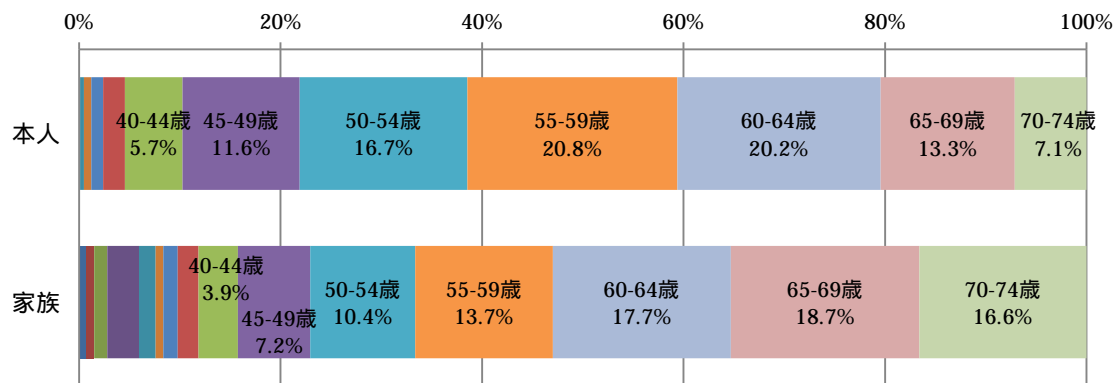
⁹ 医療費構成割合は、当該疾病の医療費(医科+調剤)を100%とした場合の各年齢階層に占める医療費の割合である(以下、同じ)。

(3) 虚血性心疾患

年齢階層別に「虚血性心疾患」の医療費割合をみると、「本人」では、55-59歳：20.8%が最も高く、次いで、60-64歳：20.2%、50-54歳：16.7%となっている。

「家族」では、65-69歳：18.7%が最も高く、次いで、60-64歳：17.7%、70-74歳：16.6%となっている。

図 43 虚血性心疾患

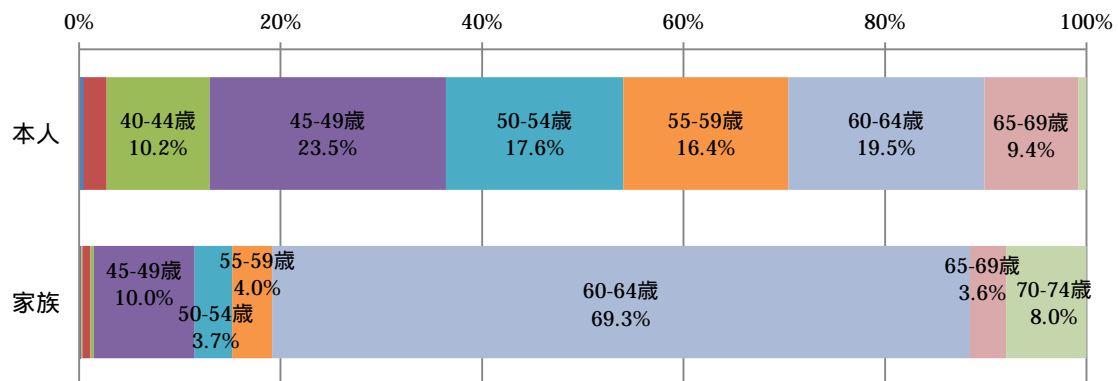


(4) 動脈閉塞

年齢階層別に「動脈閉塞」の医療費割合をみると、「本人」では、45-49歳：23.5%が最も高く、次いで、60-64歳：19.5%、50-54歳：17.6%となっている。

「家族」では、60-64歳：69.3%が最も高く、次いで、45-49歳：10.0%、70-74歳：8.0%となっている¹⁰。

図 44 動脈閉塞



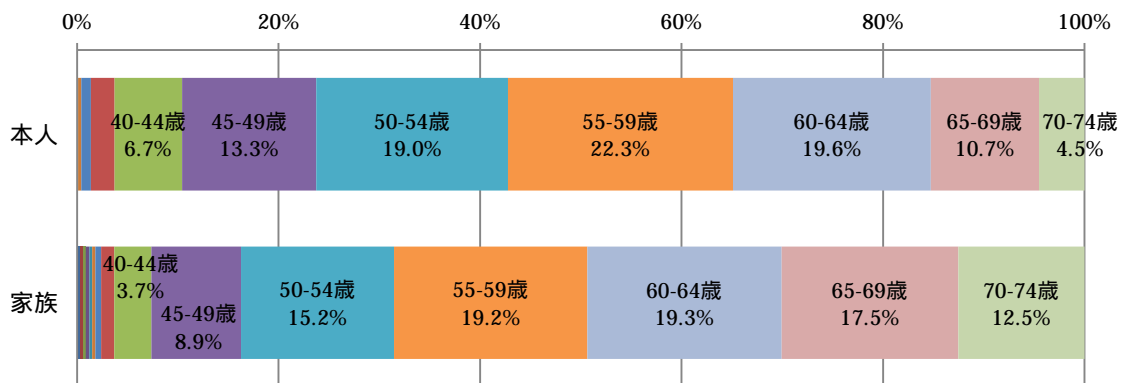
¹⁰ 「動脈閉塞」の「家族」については、60-64歳に高額レセプトが発生している等、一部の年齢階層に偏りがあるため、平成28年度調査と比較して傾向に差異が生じている。

(5) 高血圧症

年齢階層別に「高血圧症」の医療費割合をみると、「本人」では、55-59歳：22.3%が最も高く、次いで、60-64歳：19.6%、50-54歳：19.0%となっている。

「家族」では、60-64歳：19.3%が最も高く、次いで、55-59歳：19.2%、65-69歳：17.5%となっている。

図 45 高血圧症

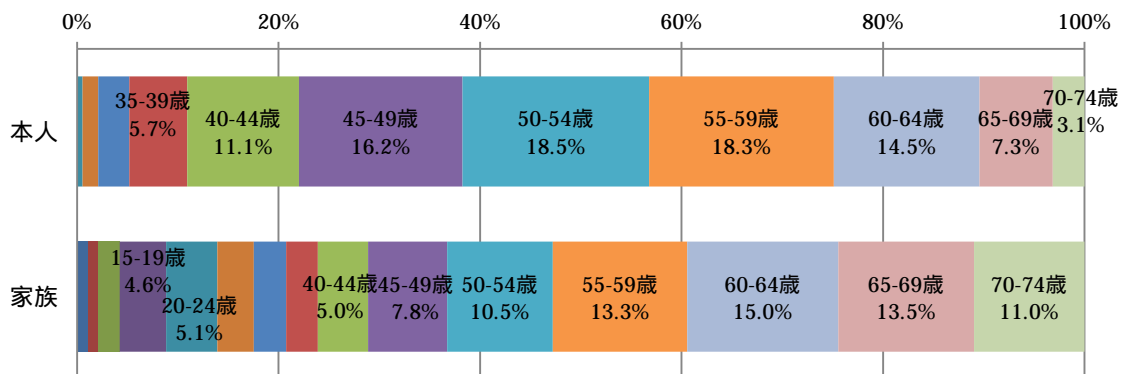


(6) 高尿酸血症

年齢階層別に「高尿酸血症」の医療費割合をみると、「本人」では、50-54歳：18.5%が最も高く、次いで、55-59歳：18.3%、45-49歳：16.2%となっている。

「家族」では、60-64歳：15.0%が最も高く、次いで、65-69歳：13.5%、55-59歳：13.3%となっている。

図 46 高尿酸血症

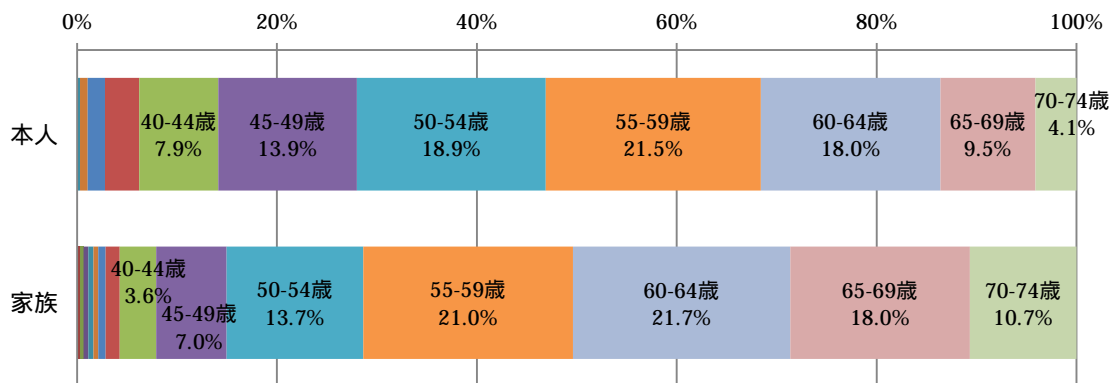


(7) 高脂血症

年齢階層別に「高脂血症」の医療費割合をみると、「本人」では、55-59歳：21.5%が最も高く、次いで、50-54歳：18.9%、60-64歳：18.0%となっている。

「家族」では、60-64歳：21.7%が最も高く、次いで、55-59歳：21.0%、65-69歳：18.0%となっている。

図 47 高脂血症

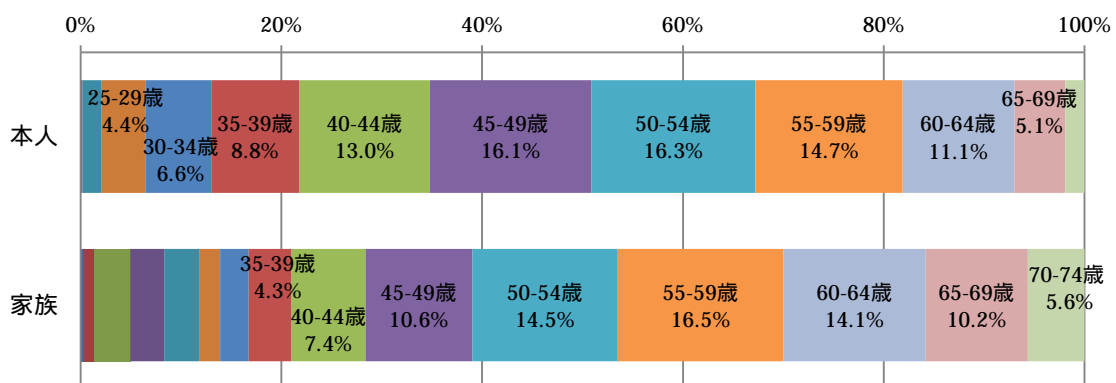


(8) 肝機能障害

年齢階層別に「肝機能障害」の医療費割合をみると、「本人」では、50-54歳：16.3%が最も高く、次いで、45-49歳：16.1%、55-59歳：14.7%となっている。

「家族」では、55-59歳：16.5%が最も高く、次いで、50-54歳：14.5%、60-64歳：14.1%となっている。

図 48 肝機能障害

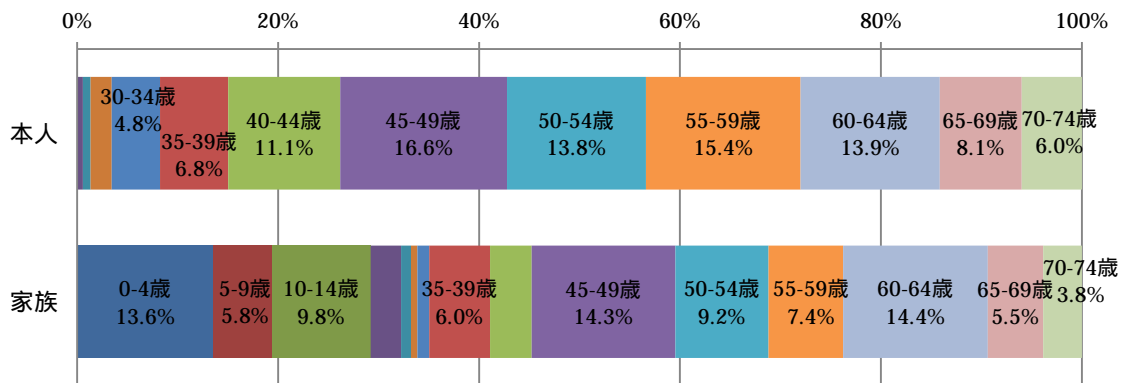


(9) 高血圧性腎臓障害

年齢階層別に「高血圧性腎臓障害」の医療費割合をみると、「本人」では、45-49歳：16.6%が最も高く、次いで、55-59歳：15.4%、60-64歳：13.9%となっている。

「家族」では、60-64歳：14.4%が最も高く、次いで、45-49歳：14.3%、0-4歳：13.6%となっている。

図 49 高血圧性腎臓障害

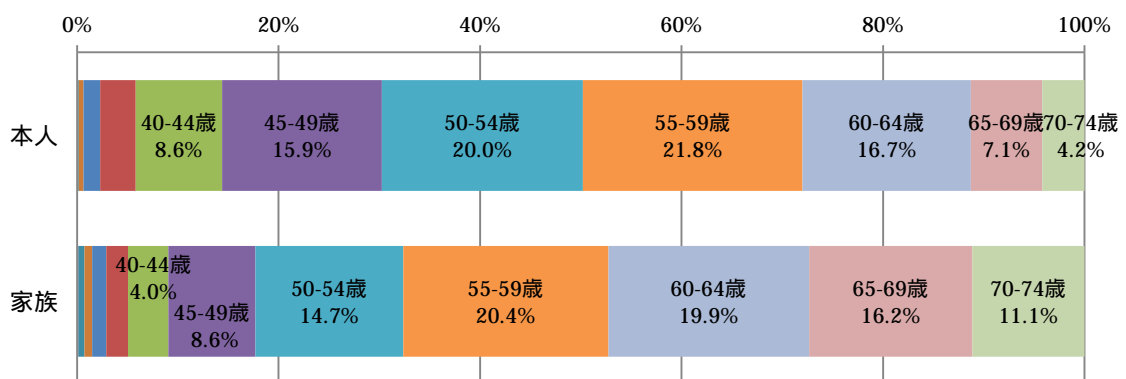


(10) 人工透析

年齢階層別に「人工透析」の医療費割合をみると、「本人」では、55-59歳：21.8%が最も高く、次いで、50-54歳：20.0%、60-64歳：16.7%となっている。

「家族」では、55-59歳：20.4%が最も高く、次いで、60-64歳：19.9%、65-69歳：16.2%となっている。

図 50 人工透析



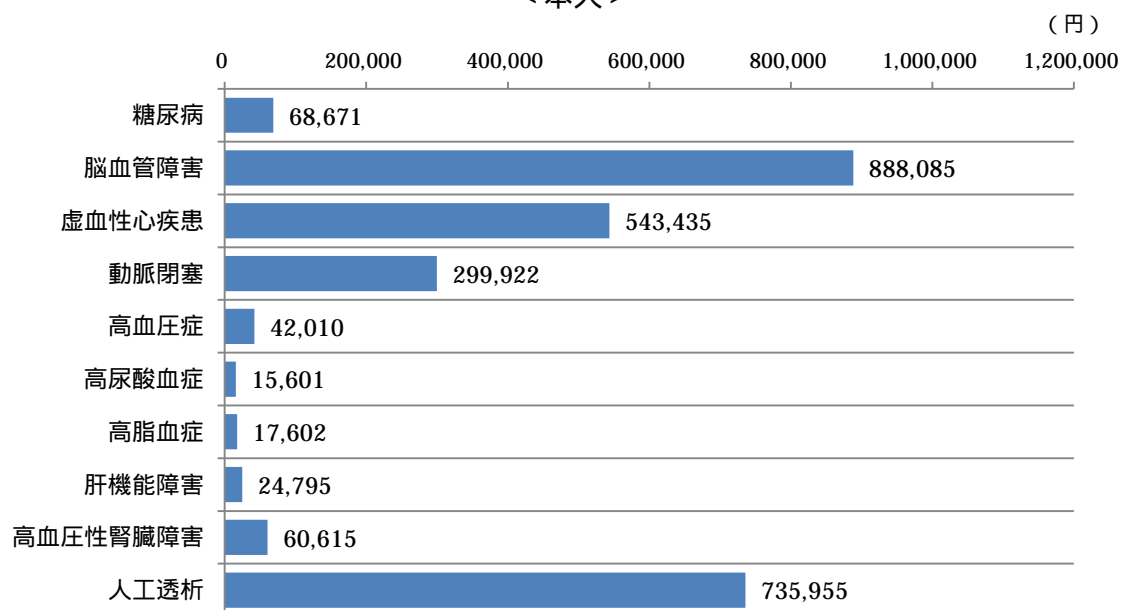
10. 生活習慣関連 10 疾患別にみた推計 1 入院当たり医療費

生活習慣関連 10 疾患別に推計 1 入院当たり医療費をみると、「本人」では、脳血管障害：88 万 8,085 円が最も高く、次いで、人工透析：73 万 5,955 円、虚血性心疾患：54 万 3,435 円となっている。

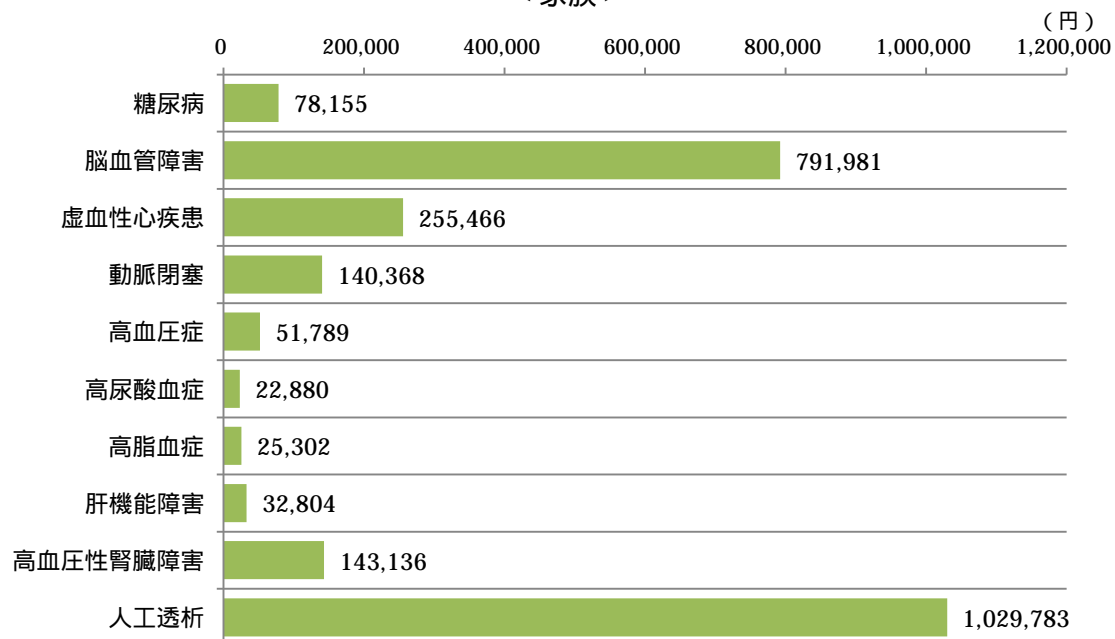
「家族」では、人工透析：102 万 9,783 円が最も高く、次いで、脳血管障害：79 万 1,981 円、虚血性心疾患：25 万 5,466 円の順となっている。

図51 生活習慣関連10疾患別推計1入院当たり医療費

< 本人 >



< 家族 >

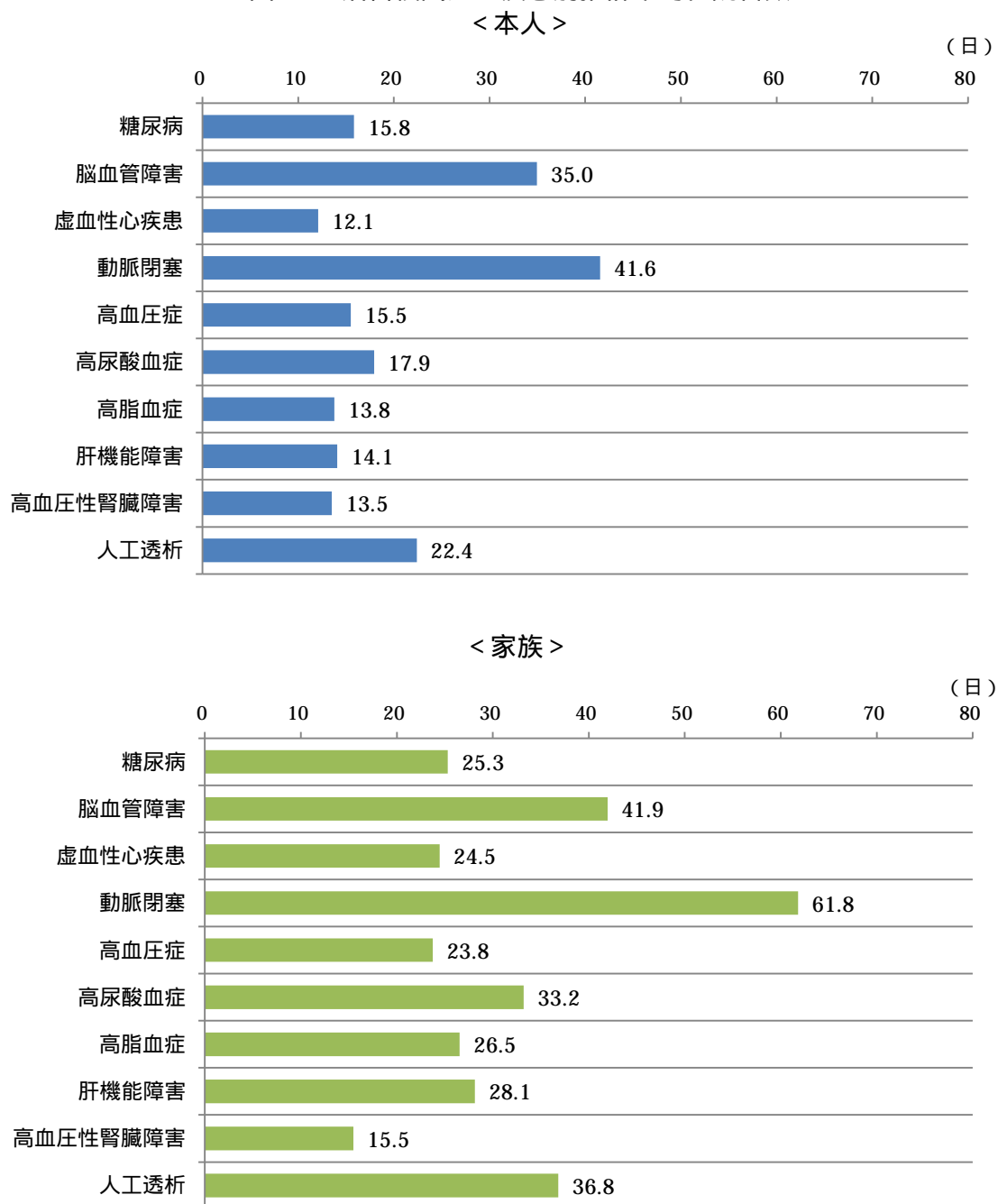


11. 生活習慣関連 10 疾患別にみた推計平均在院日数

生活習慣関連 10 疾患別に推計平均在院日数をみると、「本人」では、動脈閉塞：41.6 日が最も長く、次いで、脳血管障害：35.0 日、人工透析：22.4 日となっている。

「家族」では、動脈閉塞：61.8 日が最も長く、次いで、脳血管障害：41.9 日、人工透析：36.8 日の順となっている。

図52 生活習慣関連10疾患別推計平均在院日数

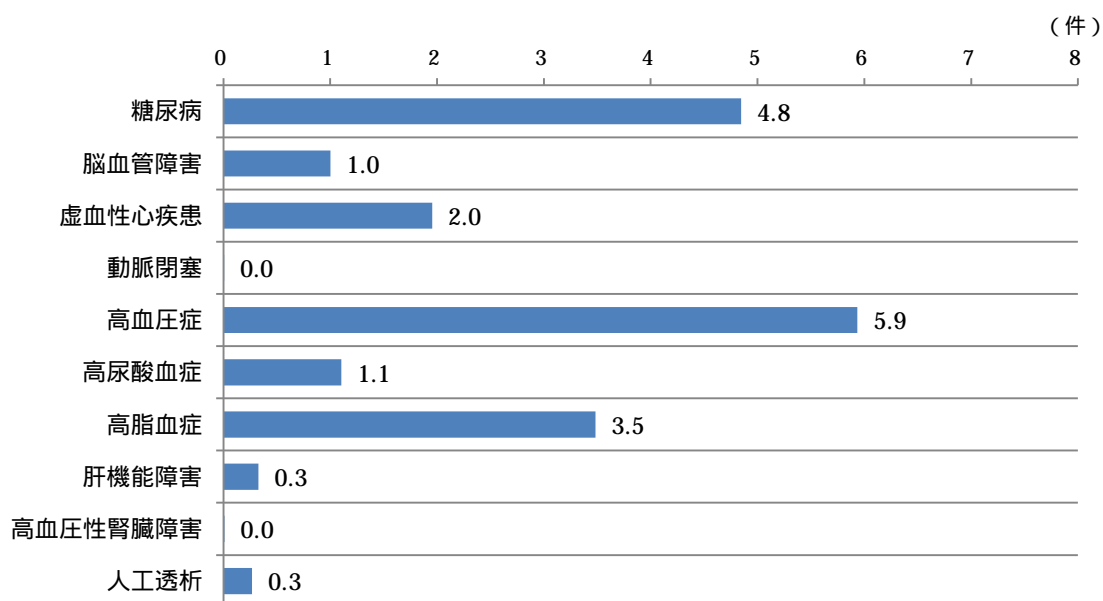


12. 生活習慣関連 10 疾患別にみた 1,000 人当たり推計新規入院件数

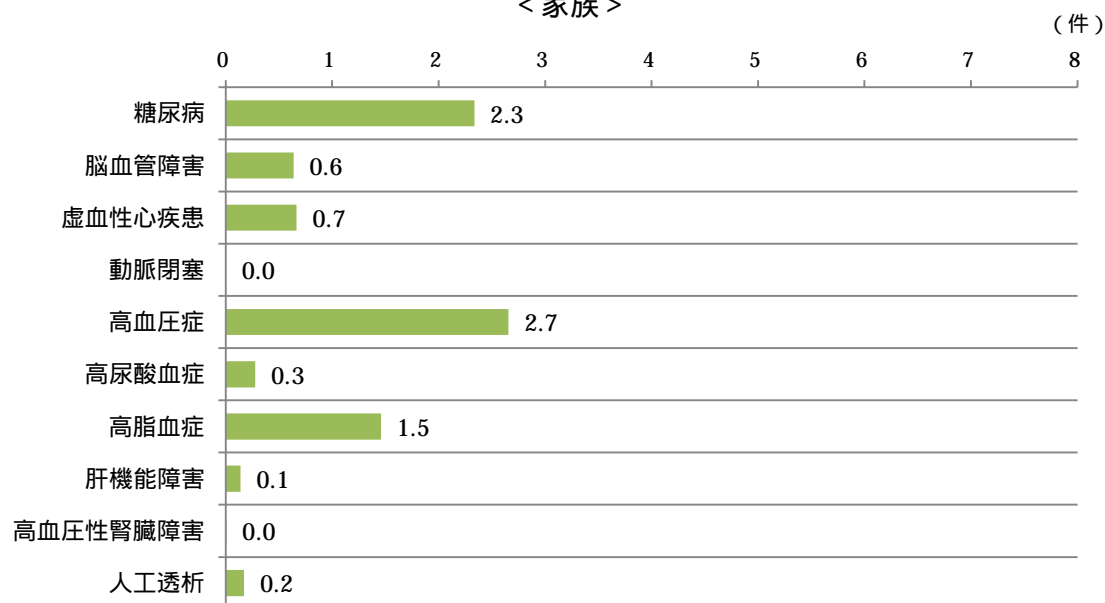
生活習慣関連 10 疾患別に 1,000 人当たり推計新規入院件数をみると、「本人」では、 高血圧症：5.9 件が最も多く、次いで、 糖尿病：4.8 件、 高脂血症：3.5 件となっている。

「家族」では、 高血圧症：2.7 件が最も多く、次いで、 糖尿病：2.3 件、 高脂血症：1.5 件の順となっている。

図53 生活習慣関連10疾患別1,000人当たり推計新規入院件数
<本人>



<家族>



留意点及び用語の解説

疾病別医療費の取り扱い

本調査では、1レセプトに記載された、1ないし複数の傷病名に対して、各傷病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、同一レセプトの医療費を疾病ごとに振り分けた結果をもとに算出している。また、入院外レセプトには、紐付け可能な調剤レセプトの医療費を含めている。

有病者数（受診者数）

レセプト上に当該傷病名の記載が付いた受診者の数である。

なお、本調査では、レセプト上に複数の傷病名の記載がある場合には、それぞれの傷病名ごとに人数をカウントし、また、1人の受診者に対して、複数のレセプトがある場合には、傷病名で名寄せして傷病名ごとに1人とカウントしている。

1人当たり医療費

当該年度の1人当たり医療費は、当該年度の医療費を、当該年度の各月末の平均加入者数の和を12で除したもので、除したものである。

受診率（1,000人当たり件数）

当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したものである。

1件当たり日数

当該年度の1件当たり日数は、当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したものである。

1日当たり医療費

当該年度の1日当たり医療費は、当該年度の医療費を診療実日数で除したものである。

推計1入院当たり医療費

入院患者1人にかかる、入院してから退院までの医療費の推計値である。

推計平均在院日数

退院日を含む平均在院日数の推計値である。

1,000人当たり推計新規入院件数

当該年度の4月～3月までの各月に入院した患者数の合計（推計値）である。
